

HP vp6300 シリーズ デジタルプロジェクタ ユーザーズガイド



© Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Hewlett-Packard Company
Digital Projection and Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330

第1版、2005年1月

目次

1 セットアップ

安全上の注意	7
内容物	8
主な機能の説明	9
プロジェクタ全体図	9
プロジェクタのボタンとライト	11
バックパネル	12
リモコン	14
アクセサリ	15
プロジェクタのセットアップ	16
プロジェクタの位置調整	16
電源の接続	19
コンピュータの接続	20
携帯端末の接続	21
ビデオソースの接続	22
プロジェクタの電源のオン/オフ	26
プロジェクタの電源をオンにする	26
プロジェクタの電源をオフにする	27
プロジェクタの移動	27
基本調整	28
プロジェクタの投影位置の調整	28
フォーカスとズームの調整	28
リモコンの使用	29

2 プレゼンテーションの表示

コンピュータの画面の表示	31
別のソースの選択	31
画像の非表示または表示	31

3 プロジェクタの調整

画像とサウンドの調整	33
最適な画像モードの選択	33
画像の形の調整	34
画像のゆがみの調整	35
画像のカラー調整	36
その他の画像の設定の調整	36
音量の調整	37
その他のサウンド設定の調整	37

プロジェクトのセットアップの調整.....	37
不正使用の防止.....	37
オンスクリーンメニューの使用.....	38
オンスクリーンメニューを使用して設定を変更する.....	38
入力メニュー.....	39
画像メニュー.....	40
サウンドメニュー.....	41
セットアップメニュー.....	41
ヘルプメニュー.....	42

4 プロジェクタのメンテナンス

日常のメンテナンス.....	43
プロジェクトのステータスを見る.....	43
プロジェクトのレンズのクリーニング.....	43
ランプモジュールの交換.....	44
リモコンの電池を交換する.....	46
プロジェクトのアップグレード.....	47
ファームウェアのアップデート.....	47

5 プロジェクタの設置

プロジェクトの設置方法.....	49
ケーブルの選択.....	49
卓上に設置する.....	49
天井に設置する.....	49
背面投影用に設置する.....	50
プロジェクトのロック.....	50
外部アクセサリの制御.....	51
ルームコントローラの接続.....	52
シリアル接続.....	52
ルームコントローラのコマンドの例.....	52
ルームコントローラのコマンド.....	54

6 問題の解決

トラブルシューティングのヒント.....	59
警告ライトの問題.....	59
始動時の問題.....	60
画像の問題.....	60
サウンドの問題.....	63
停止の問題.....	63
リモコンの問題.....	63
プロジェクトのテスト.....	64
プロジェクトの診断テストの実行.....	64

7 参考情報

仕様	65
安全情報	68
LEDの安全性	68
水銀の安全性	68
規制情報	69
日本	70
国際	70

1 セットアップ

安全上の注意



警告 怪我および機器の損傷を未然に防ぐため、以下の注意事項ならびに本マニュアルに記載の関連情報をよく読みの上、これをお守りください。

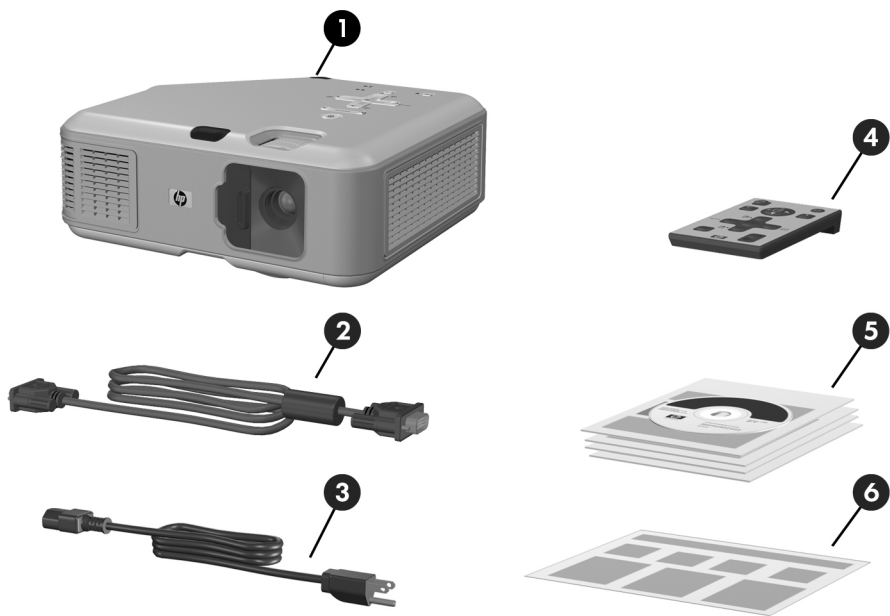
- ランプが点灯しているあいだは、プロジェクタのレンズをのぞかないでください。
- プロジェクタを湿気の多い場所に放置しないでください。また水気のある場所では使用しないでください。
- 印刷用紙、プラスチックなどの可燃性物質はプロジェクタのレンズや排気口から0.5 m以上離してください。
- 液体、食物、小物をプロジェクタ内部に落とさないでください。万一、プロジェクタ内部にこれらのものが入った場合は、HPにご相談ください。
- プロジェクタの上には何も置かないでください。プロジェクタにかかる恐れがある場所に液体を置かないでください。
- プロジェクタの排気口をふさがないでください。ラジエータやアンプなどの熱源の近くにはプロジェクタを置かないでください。
- 製品ラベルに記載された電圧および電流定格に適合する電源コードのみを使用してください。たこ足配線を避け、コンセントや延長コードに負荷がかかりすぎないようにしてください。電源コードのアース端子は必ず使用してください。
- ケーブルを踏んだり、つまづいたりしないよう、ケーブルの配線にご注意ください。
- プロジェクタは安定した面またはHP製天井取付け器具の設置面に水平に設置してください。プロジェクタを下向きに置かないでください。
- 指で直接レンズに触れないでください。43 ページの「プロジェクタのレンズのクリーニング」を参照してください。プロジェクタのケースをクリーニングするときは、柔らかく乾いた布を使用してください。
- このマニュアルで指示されたとき以外はプロジェクタを開かないでください。また開くときは、プロジェクタが十分に冷却したあとにしてください。
- プロジェクタが万一破損した場合は、HPにご連絡ください。

内容物

プロジェクタをセットアップする前に、梱包ケースに以下の品目が入っていることを確認してください。以下のいずれかの品目が不足している場合は、HPまでご連絡ください。



ヒント： 梱包ケースを開いて内容物を取り出したら、プロジェクタを搬送する場合に備えて、梱包ケースを保管しておいてください。



内容物の説明

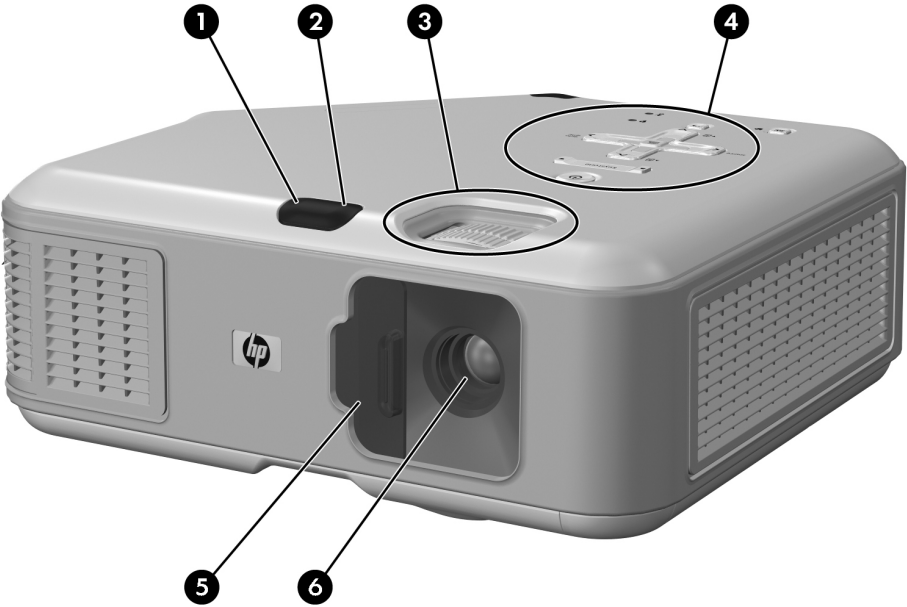
名称	機能
① プロジェクタ	画像を表示します。
② VGAケーブル	コンピュータのビデオ出力をプロジェクタに接続します。
③ 電源コード	プロジェクタを電源に接続します。
④ リモコン	プロジェクタを操作します。

内容物の説明 (続き)

名称	機能
⑤ ドキュメントパッケージ	プロジェクタのセットアップと使用方法、サポートと保証情報に関するマニュアル類が含まれます。
⑥ クイックセットアップガイド	プロジェクタを最初に使用するときの手順が記載されています。

主な機能の説明

プロジェクタ全体図



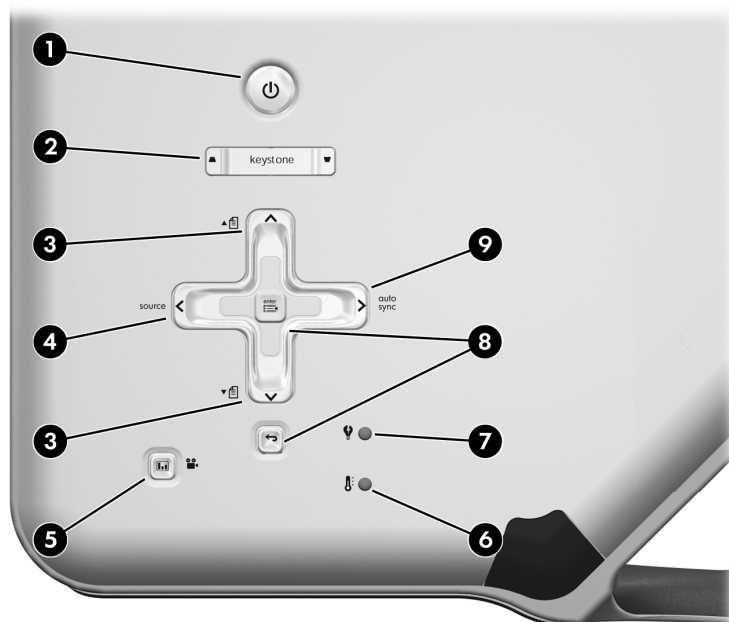
主なコンポーネントの説明

名称	機能
① 赤外線ポート	リモコンからの信号を受信します。高さを調節するボタンとしても機能します。
② 高さ調節ボタン	画像の高さを調節します。

主なコンポーネントの説明 (続き)

名称	機能
③ フォーカスおよびズームリング	フォーカスリング: 投影距離を 1m から 10m までの間で調節します。 ズームリング: 画像のサイズを 100% から 116% まで拡大します。
④ ボタンパネル	コントロールボタンとインジケータライトが配置されています。
⑤ レンズカバー	レンズを保護します。
⑥ レンズ	画像を投影します。

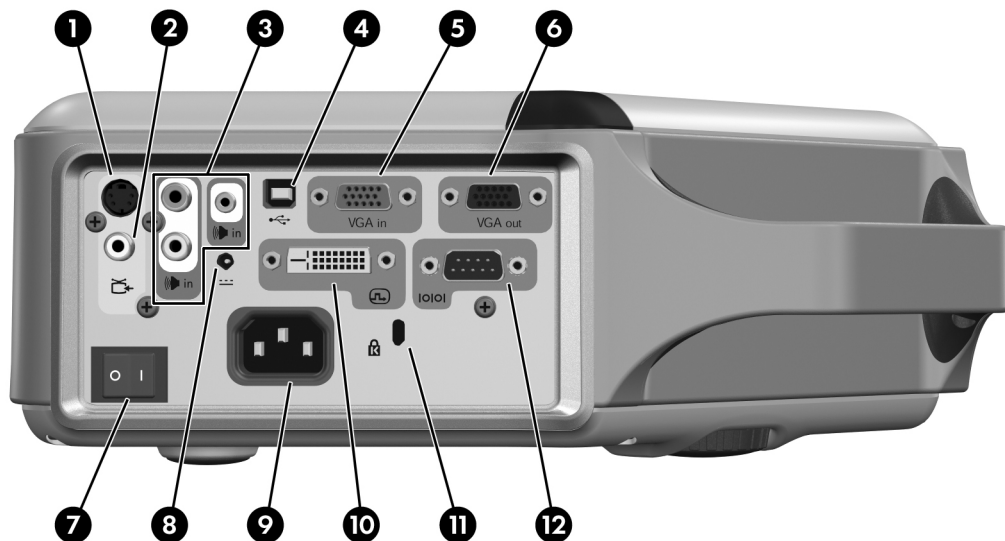
プロジェクタのボタンとライト



プロジェクタのボタンとライトの説明

名称	機能
① 電源ボタン	プロジェクタの電源をオン/オフします。
② キーストーン補正	投影画像のゆがみをなくすために、画像を調整します。
③ ページアップ、ページダウンボタン	接続したコンピュータのページを上下にスクロールします。
④ ソースボタン	次の入力ポートからの画像を表示します。
⑤ 画像モードボタン	次の画像とカラーコンビネーションを選択します。カスタマイズ可能です。
⑥ 温度警告ライト	プロジェクタが加熱したときに警告します。
⑦ ランプ警告ライト	ランプが不良のときに警告します。
⑧ メニューボタン	オンスクリーンメニューを使用して設定を変更します。
⑨ 自動同期ボタン	プロジェクタを入力信号に再同期させます。

バックパネル



背面パネルコンポーネントの説明

名称	機能
① Sビデオ入力ポート	Sビデオソースを接続します。
② コンポジット映像入力ポート	コンポジットビデオソースを接続します。
③ オーディオ入力ポート	RCAプラグまたはステレオミニプラグのどちらかを使用して、ステレオオーディオソースを接続します。
④ USBポート	コンピュータに接続し、マウスを制御します。
⑤ VGA入力ポート	コンピュータまたはコンポーネントビデオソースからのビデオ入力を接続します。
⑥ VGA出力ポート	モニタにVGA入力信号を送出します。
⑦ 主電源切断スイッチ	電源を切断します。電源コードを抜くときにだけオフにしてください。 注意： プロジェクタの電源をオフにするときはこのスイッチを使用しないで、プロジェクタ上面の電源ボタンを使用してください。

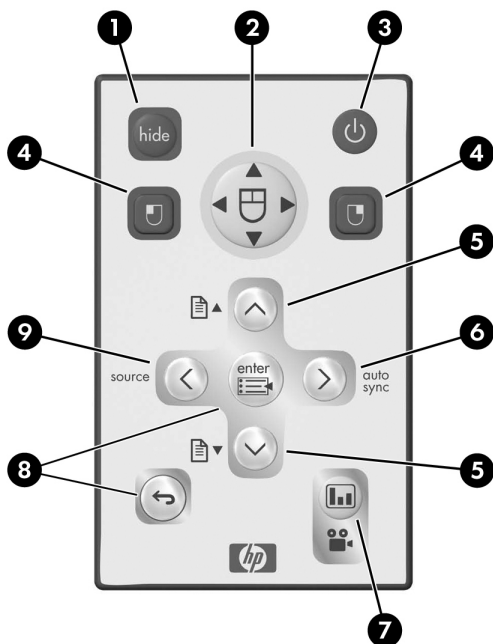
背面パネルコンポーネントの説明 (続き)

名称	機能
⑧ DC12V トリガ出力	モータースクリーンや同等のアクセサリ機器を制御します。 メモ: 一部のモデルでのみご使用になれます。
⑨ 電源コードソケット	プロジェクタの電源コードを接続します。
⑩ DVI 入力ポート	DVI-D デジタルビデオソースを接続します。 メモ: 一部のモデルでのみご使用になれます。
⑪ ロックスロット	ケーブルとロックでプロジェクタをデスクや柱などの固定物にロックします。
⑫ シリアルポート	ルームコントローラを接続します。 メモ: 一部のモデルでのみご使用になれます。

リモコン



ヒント: リモコンを使用する前に、リモコンから外れるまでプラスチックタブを引っ張って、バッテリープロテクタを取り外してください。



リモコン各部の説明

名称	機能
① 非表示ボタン	画像を非表示にして、スピーカをミュートします。
② マウスパッド	接続したコンピュータのマウスポインタを動かします。
③ 電源ボタン	プロジェクタの電源をオン/オフします。
④ マウス左クリックおよび右クリックボタン	接続したコンピュータのマウスの左クリックおよび右クリック機能を実行します。
⑤ ページアップ、ページダウンボタン	接続したコンピュータのページを上下にスクロールします。

リモコン各部の説明 (続き)

名称	機能
⑥ 自動同期ボタン	プロジェクタを入力信号に再同期させます。
⑦ 画像モードボタン	次の画像とカラーコンビネーションを選択します。カスタマイズ可能です。
⑧ メニューボタン	オンスクリーンメニューを使用して設定を変更します。
⑨ ソースボタン	次の入力ポートからの画像を表示します。

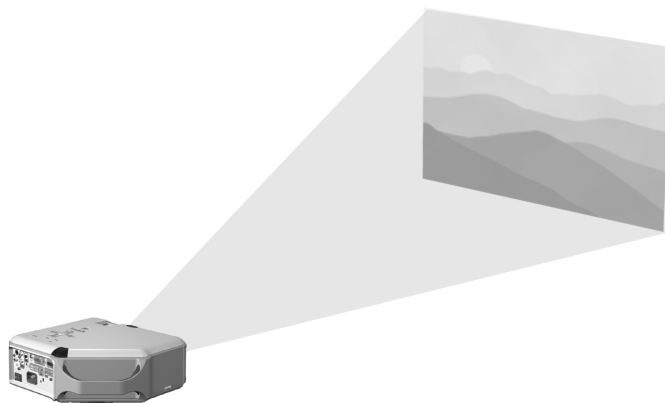
アクセサリ

HP プロジェクタ用アクセサリを使用すれば、より効果的なプレゼンテーションを行うことができます。アクセサリは、<http://www.hp.com> またはプロジェクタ販売店にてお買い求めください。

- **HP 天井取付け器具**: プロジェクタを天井に簡単かつしっかりと吊り下げることができます。
- **HP 製投影スクリーン**: どこにでも持ち運び、設置できる携帯用スクリーン。固定スクリーンとして使えばさらに便利です。
- **HP プレミアムリモコン**: プレゼンテーションのあらゆる場면을制御できます。
- **HP 電源ケーブル**: あらゆる地域に対応しています。
- **HP ケーブル**: あらゆるオーディオビデオソースを接続できます。
- **HP 交換用ランプ**: プロジェクタに出荷時と同じような真新しい輝きをもたらします。

プロジェクタのセットアップ

プロジェクタの位置調整



次ページの表に、スクリーンとの距離に応じたプロジェクタの配置場所について示します。



ヒント: 最も良い画像を表示するには、プロジェクタをスクリーンから1.5mから5m以内に配置します。

画像サイズとスクリーン投影距離—vp6310 シリーズ

画像サイズ(対角)		画像サイズ(幅)		距離(レンズとスクリーン間)	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
30	0.8	24	0.6	41～48	1.1～1.2
40	1.0	32	0.8	55～64	1.4～1.6
60	1.5	48	1.2	83～96	2.1～2.4
80	2.0	64	1.6	110～128	2.8～3.3
100	2.5	80	2.0	138～160	3.5～4.1
120	3.0	96	2.4	166～192	4.2～4.9
150	3.8	120	3.0	207～240	5.3～6.1
180	4.6	144	3.7	248～288	6.3～7.3
200	5.1	160	4.1	276～320	7.0～8.1
240	6.1	192	4.9	331～384	8.4～9.8
270	6.9	216	5.5	372～396	9.5～10.0

画像サイズとスクリーン投影距離—vp6320 シリーズ

画像サイズ(対角)		画像サイズ(幅)		距離(レンズとスクリーン間)	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
30	0.8	24	0.6	43～50	1.1～1.3
40	1.0	32	0.8	58～67	1.5～1.7
60	1.5	48	1.2	87～101	2.2～2.6
80	2.0	64	1.6	116～134	2.9～3.4
100	2.5	80	2.0	145～168	3.7～4.3
120	3.0	96	2.4	174～202	4.4～5.1
150	3.8	120	3.0	217～252	5.5～6.4
180	4.6	144	3.7	261～302	6.6～7.7
200	5.1	160	4.1	290～336	7.4～8.5
240	6.1	192	4.9	348～400	8.8～10.0
270	6.9	216	5.5	391～400	9.9～10.0

この距離の表以外にも、以下の式を使用して、スクリーンの位置に応じたプロジェクタの設置場所を決めることができます。

投影距離の計算方法

レンズからスクリーンまでの距離 = A × スクリーンの幅

スクリーンからの最少/最大距離 = B

スクリーンの幅 = 0.8 × スクリーンの対角線長 (3:4スクリーンの場合)

プロジェクタのレンズがスクリーン下端よりも低い場合 = C × スクリーンの幅 (4:3スクリーンの場合)

vp6310 シリーズ

A = 1.7 ～ 2.0

B = 1 ～ 10 m

C = 0.11 ～ 0.41

vp6320 シリーズ

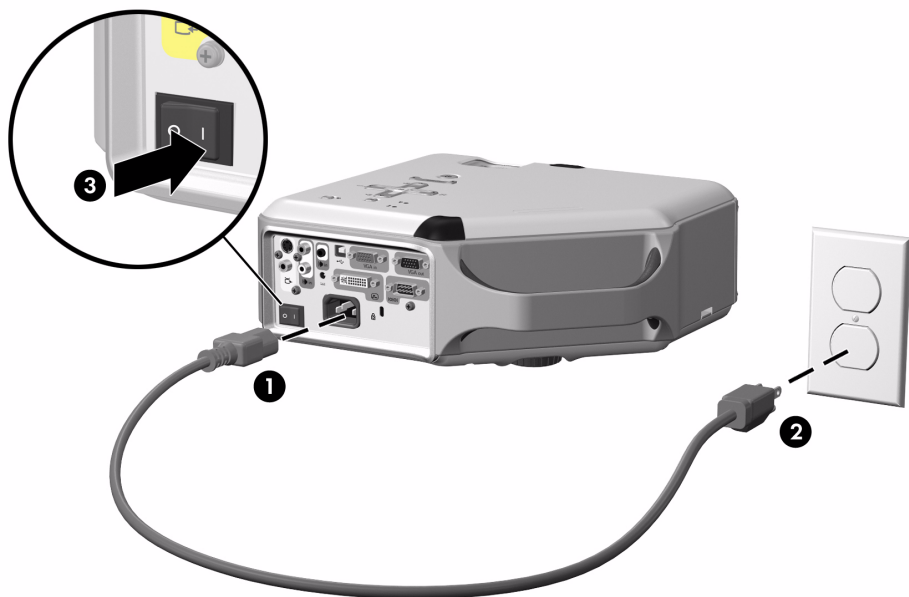
A = 1.8 ～ 2.1

B = 1 ～ 10 m

C = 0.11 ～ 0.43

電源の接続

1. スクリーン前面から 1 ～ 10m 離れた位置にある安定した台の上にプロジェクタを置きます。プロジェクタを置く台は、スクリーン底辺よりも低い位置が理想的です。
2. 電源コードの一方の端をプロジェクタの背面①に接続し、もう一方の端をアース付きの電源コンセント②に差し込みます。
3. プロジェクタの背面にある主電源切断スイッチ③をオンにします。

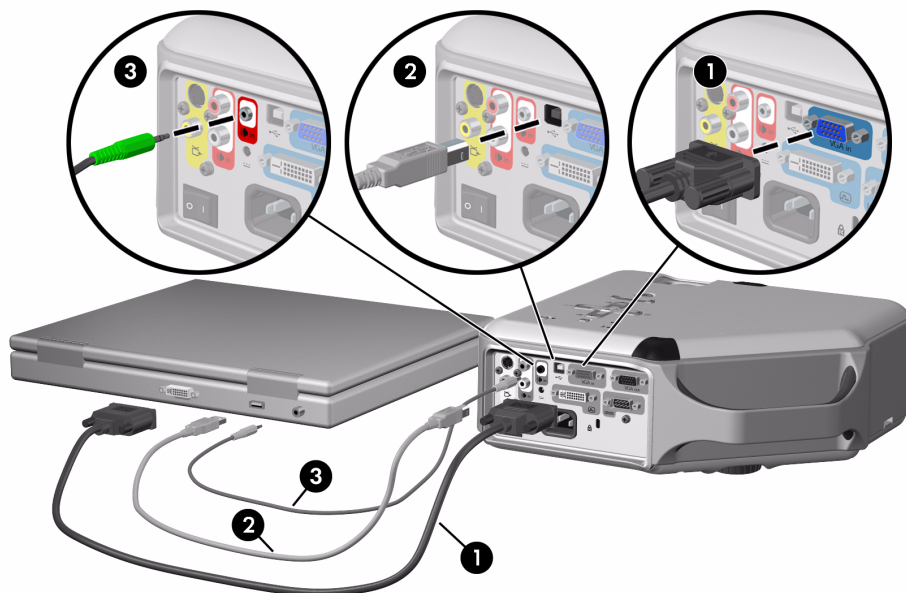


プロジェクタを天井やスクリーン背面に設置する場合は、49ページの「プロジェクタの設置方法」を参照してください。

コンピュータの接続

必要なもの:

- VGA ケーブル①
- USB ケーブル② (オプション)
- オーディオケーブル、ミニプラグ③ (オプション)



オプションの USB 接続ケーブルを使用すれば、リモコンでマウスとページアップ/ダウン機能を使用することができます。

31 ページの「コンピュータの画面の表示」を参照してください。



ヒント: コンピュータの画面がプロジェクタに表示されない場合、コンピュータの複数のキーを同時に押して、コンピュータのVGA出力をオンにする必要があります。例えば、コンピュータによっては、FN+F4 または FN+F5 を同時に押します。詳細は、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

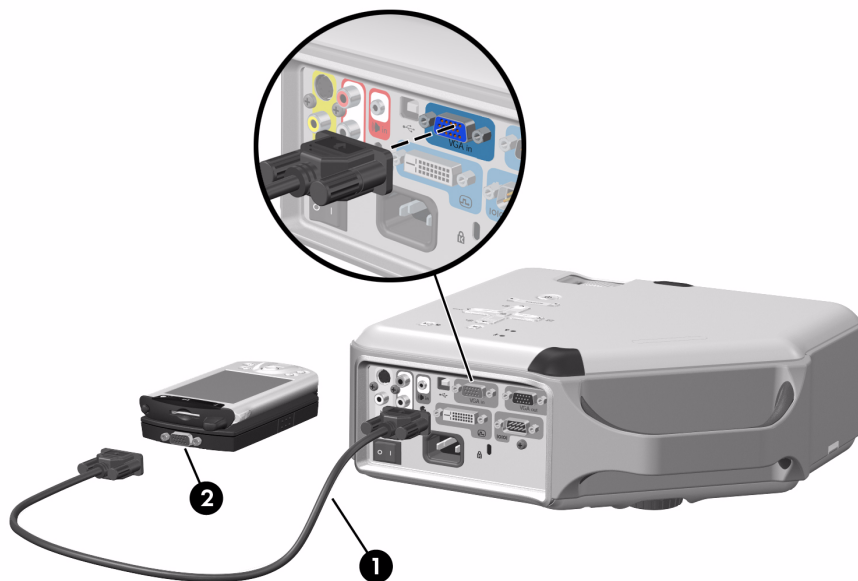
ヒント: プロジェクタのVGA出力ポートに外部コンピュータのモニタを接続できます。モニタはプロジェクタの電源がオフでも、別の入力を表示していても、VGA入力ポートに接続された信号を出力します。

携帯端末の接続

端末端末によってはVGA出力ポートを持たないものがあります。例えば、iPAQ Pocket PCでは15ピンコネクタを持つVGA出力PCカードが必要な場合があります。このような場合は、VGA出力アクセサリカードを携帯端末に装着してください。

必要なもの：

- VGAケーブル①
- VGA出力アクセサリカード②（一部のモデル）



ビデオソースの接続

ビデオ機器の多くは、数種類の出力ポートを備えています。これらの機器をプロジェクタに接続する際は、最も高い画質を出力できる接続を選択してください。以下に、ビデオ接続を画質の良い順に示します。

- DVI接続（高画質）
- コンポーネントビデオ接続
- Sビデオ接続
- コンポジットビデオ接続

以下のセクションで示すビデオとオーディオケーブルはHPから購入できます。

プロジェクタにSCARTビデオ機器を接続する場合、SCARTアダプタが別途必要です（HPから入手可能）。

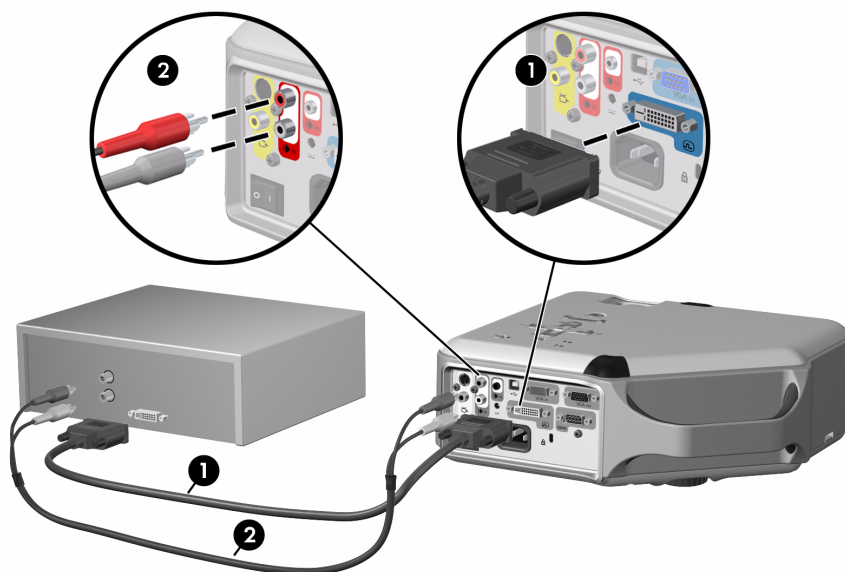
DVIソースの接続

DVIポートは一部のモデルでのみご使用になれます。このポートはDVIデジタルソースのみに対応しています。

例: ケーブルボックス、衛星放送受信機、および一部のコンピュータ

必要なもの:

- DVI-Dケーブル①
- オーディオケーブル、RCA②（オプション）



コンポーネントビデオソースの接続

例: ケーブルボックス、DVDプレーヤー、衛星放送受信機、オーディオビデオ受信機

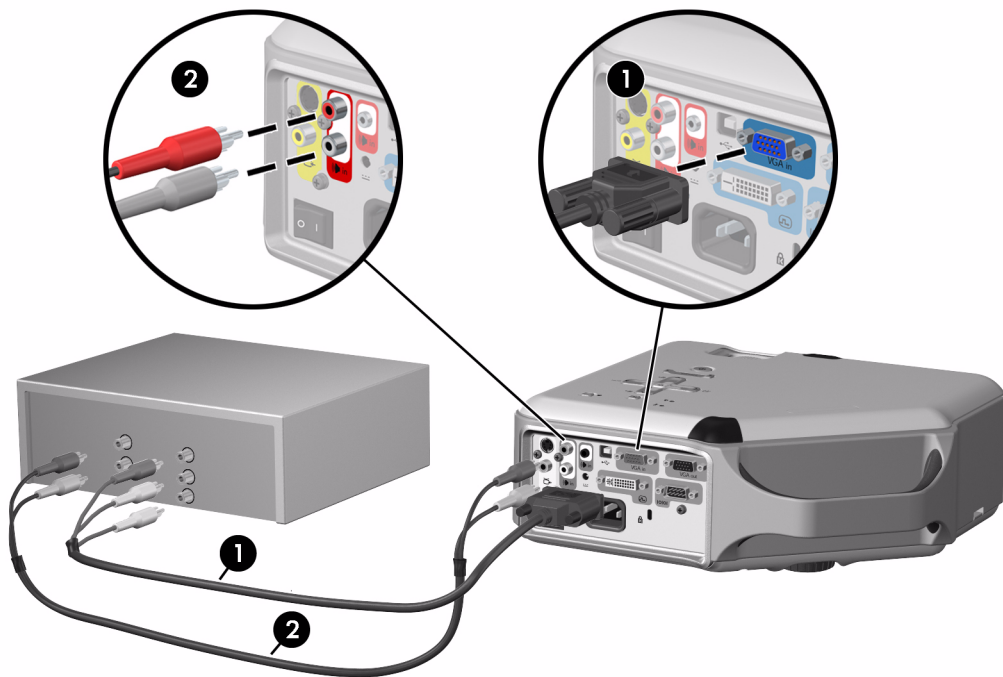
必要なもの:

- コンポーネント-VGAケーブル①
- オーディオケーブル、RCA② (オプション)



ヒント: 多くのDVDプレーヤーや高品質のビデオ機器はコンポーネントビデオ出力を装備しています。このうち、3つのRCAコネクタはそれぞれYPbPrまたはYCbCrとラベルづけされています。

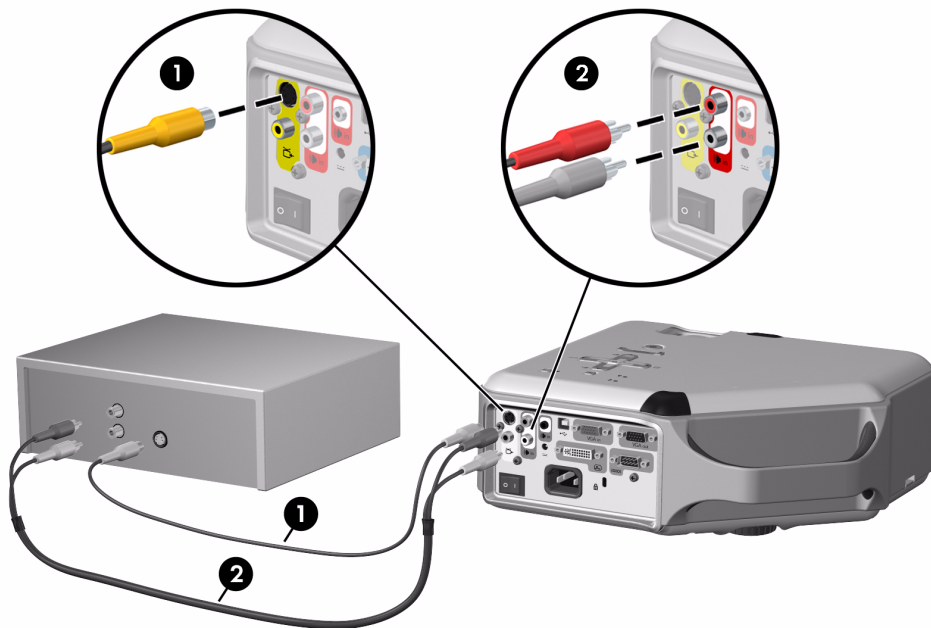
可能ならば、480p、575pまたは720pなどのプログレッシブスキャン出力を使用できるようにビデオ機器を構成してください。詳細は、ビデオ機器に付属のマニュアルを参照してください。



Sビデオソースの接続

例: DVDプレーヤ、ビデオデッキ、ケーブルボックス、ビデオカメラ、ビデオゲーム機器など
必要なもの:

- Sビデオケーブル①
- オーディオケーブル、RCA② (オプション)

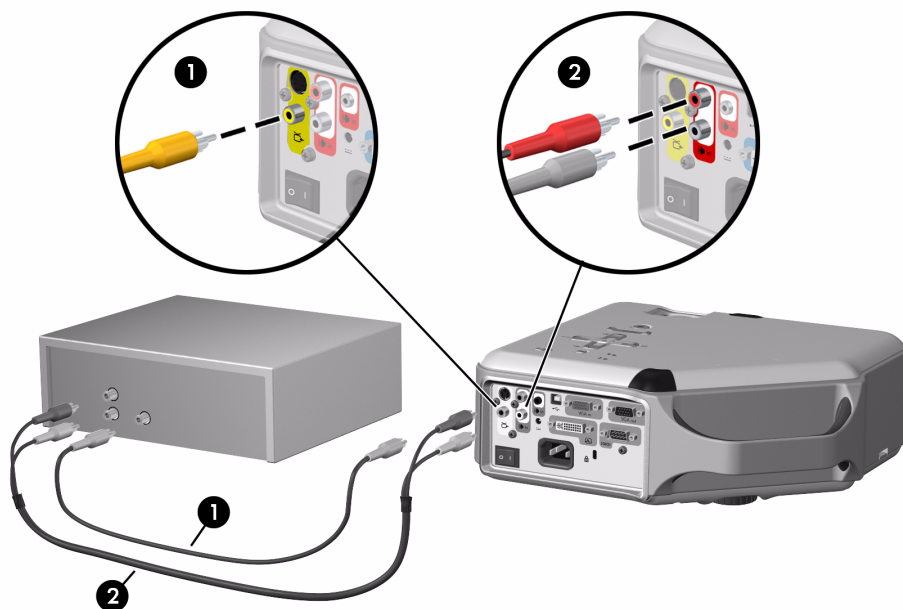


コンポジットビデオソースの接続

例:ビデオデッキ、DVDプレーヤ、オーディオビデオ受信機、ビデオゲーム機器など

必要なもの:

- コンポジットビデオケーブル①
- オーディオケーブル、RCA②またはビデオ-オーディオケーブル（オプション）



プロジェクタの電源のオン/オフ

プロジェクタの電源をオンにする

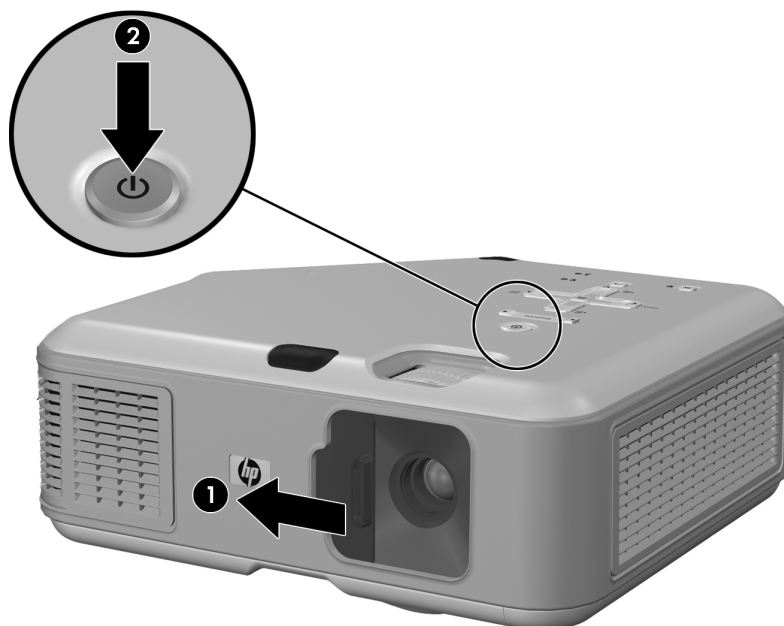
1. 電源コードが接続されており、主電源切断スイッチがオンになっていることを確認します。
2. レンズカバー ❶ を左にスライドさせて、レンズを開きます。
3. プロジェクタまたはリモコンの電源ボタン ❷ を押します。

プロジェクタがウォームアップするまで1分ぐらいかかります。ウォームアップの間、電源ボタンが点滅します。



ヒント: 画像がスクリーンに表示されない場合は、以下を試してください。

- コンピュータを使用中の場合は、複数のキーを同時に押してビデオ出力をオンにします。例えば、コンピュータによってはFN+F4またはFN+F5を同時に押します。
- プロジェクタの **source** ボタンを1回または数回押して、正しい入力ポートを選択します。





メモ： プロジェクタのパーツやプロジェクタの排気が暖かいのは通常の状態であり、問題ありません。プロジェクタは過熱状態になると、温度警告ライトが点灯し、自動的にシャットダウンします。

プロジェクタの電源をオフにする

1. プロジェクタの電源をオフにするには、プロジェクタの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します。電源ボタンは押し続けしないでください。

クールダウン中は電源ボタンが点滅し、やがてプロジェクタの電源がオフになります。プロジェクタの電源がオフになっても、プロジェクタ内部では少量の電源が消費されています。

2. クールダウン中または電源ボタンの点滅が停止したら、ビデオ機器やオーディオ機器をプロジェクタから取り外すことができます。



注意： プロジェクタのクールダウンが終了し（ファンが停止）、電源ボタンのライトの点滅が消えるまで、プロジェクタの電源コードを抜いたり主電源切断スイッチをオフにしたりしないでください。途中で電源を切断すると、ランプの寿命が短くなるおそれがあります。

3. プロジェクタの電源コードを抜いたり、プロジェクタを取り外さなければならない場合は、電源ボタンのライトの点滅が消えてから行ってください。

クールダウン中にプロジェクタの電源を再度押しても、プロジェクタはオンにはなりません。クールダウンが終了し、電源ボタンの点滅が消えるまでお待ちください。

プロジェクタの移動

プロジェクタを移動するときは：

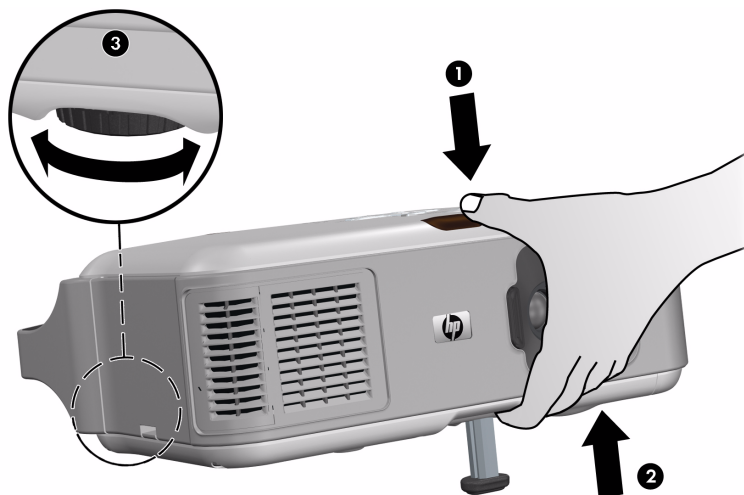
- プロジェクタが完全にクールダウンするまで待ちます。その後、ケーブルをすべて取り外します。
- 激しい揺れや衝撃を避けてください。できるだけ、キャリーケースやソフトケースなどに入れて持ち運んでください。
- 温度と湿気制限を守ってください（65ページの「仕様」を参照）。プロジェクタが冷えている場合は、結露を避けるためにゆっくりとウォームアップしますので、しばらくお待ちください。

基本調整

ここでは、プロジェクタの基本的な調整方法について説明します。

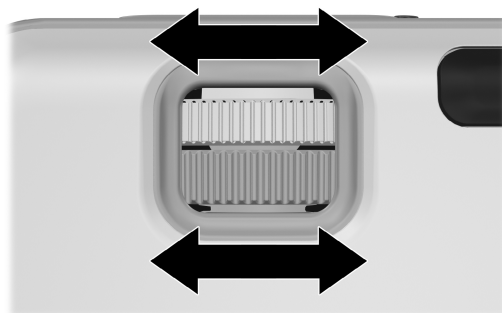
プロジェクタの投影位置の調整

- 投影画像の位置を上下に動かすには、プロジェクタの高さ調整ボタン①を押して、プロジェクタの前部の高さを上下します②。ボタンから指を離すと、その位置で固定されます。
- スクリーン上の画像の水平位置を調整するには、調整脚③を回してそれぞれの脚の長さを調整します。



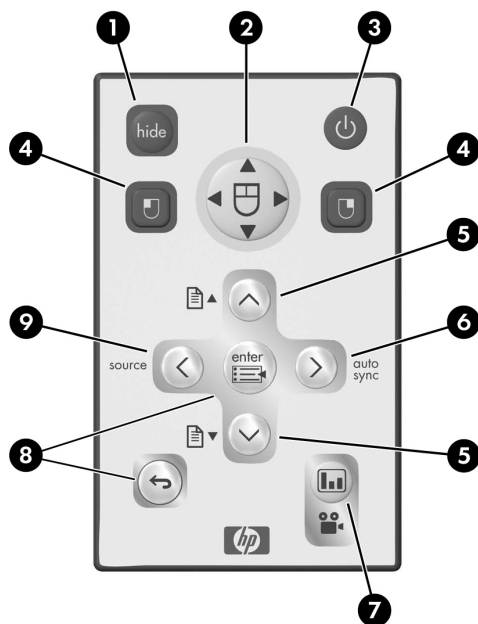
フォーカスとズームの調整

1. フォーカスリングを回して、画像が鮮明になるように調整します。本プロジェクタで焦点が合う距離は、1～10 mです。
2. ズームリングを回して、画像の大きさを100%～116%の範囲で調整します。



画像がスクリーンサイズに適さない場合は、プロジェクタをスクリーンに近づけるか、遠ざけるかしてください。

リモコンの使用



目的	使用するボタン
画像の表示または非表示	hide ボタン ❶
コンピュータのマウスポインタの移動	ポインタを動かしたい方向にマウスパッドの端 ❷ を押します。 この機能を使用するには、プロジェクタとコンピュータをUSB で接続してください。
プロジェクタの電源のオン/オフ	電源ボタン ❸
コンピュータのマウスボタンのクリック	マウス左クリックおよび右クリックボタン ❹。この機能を使用 するには、プロジェクタとコンピュータをUSB 接続する必要 があります。
コンピュータのページアップ、ページダウン	ページアップ、ページダウンボタン ❺。この機能を使用する には、プロジェクタとコンピュータをUSB 接続する必要が あります。
コンピュータ画面の画像の再調整	auto sync ボタン ❻

目的	使用するボタン
別のタイプの入力信号に合わせて画像設定を変更する	画像モードボタン⑦を1回または数回押します。
オンスクリーンメニューを使用して設定を変更する	enter ボタンと移動ボタン⑧ 38ページの「オンスクリーンメニューの使用」を参照してください。
オンスクリーンメニューや調整の終了	終了↩ボタン⑧
次の入力ソースへの切り替え	source ボタン⑨を1回または数回押します。



ヒント: 9 m以内の距離からリモコンを画面に向けるか、プロジェクタの前面または背面に向けます。

2 プレゼンテーションの表示

コンピュータの画面の表示

1. コンピュータがプロジェクタに接続され、電源がオンになっていることを確認します。20ページの「コンピュータの接続」を参照してください。
2. プロジェクタの設定が終わり、電源が入り、調整が済んでいることを確認します。28ページの「基本調整」を参照してください。
3. プロジェクタが別の入力ソースを表示している場合は、プロジェクタまたはリモコンの **source** ボタンを1回または数回押して、VGA入力ポートを選択します。
4. コンピュータの画面がプロジェクタに表示されない場合は、コンピュータのビデオ出力ポートを手動でオンにする必要があります。例えば、一部のコンピュータでは、FN+F4またはFN+F5などのキーを組み合わせ、この操作を行います。コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

投影画像を調整したい場合は、33ページの「画像とサウンドの調整」を参照してください。

別のソースの選択

スクリーン上にビデオソースの画像が表示されない場合は、正しいソースを選択します。

- ▲ 画像が表示されるまで、またはビデオソースが接続されているビデオポート名が表示されるまで **source** ボタンを1回または数回押します。

ビデオソースの電源がオンになっており、ビデオを再生中であることも確認してください。

画像の非表示または表示

1. 画像を非表示にしてプロジェクタのスピーカをオフにするには、プロジェクタまたはリモコンの **hide** ボタンを押します。この操作を行ってもビデオソースには影響がなく、ビデオの再生はこの間も行われています。
2. 画像をもう一度表示して、プロジェクタのスピーカをオンにするには、任意のボタンを押します。

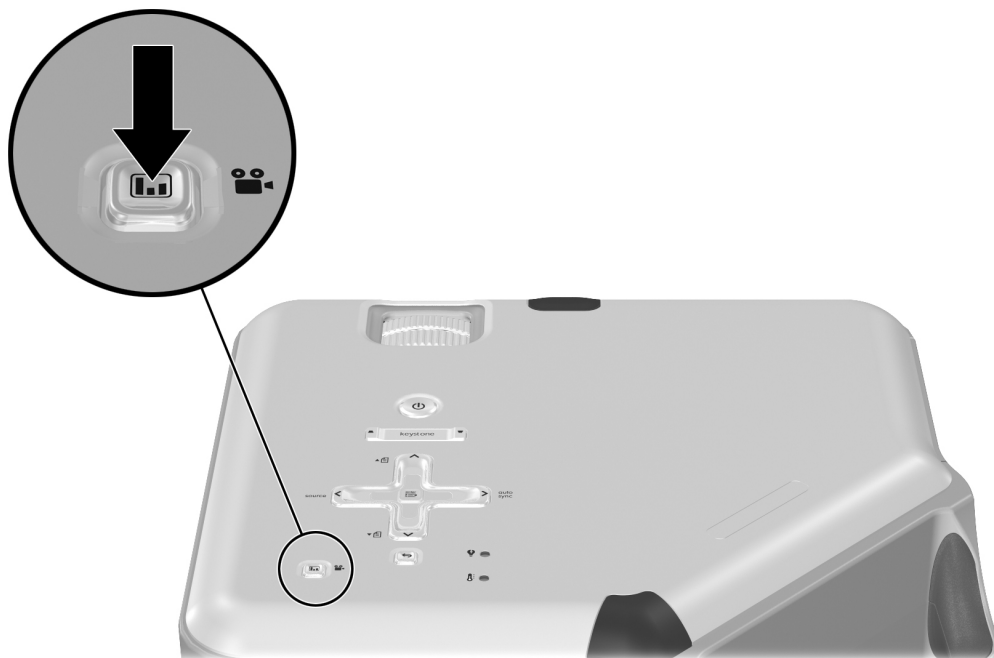
3 プロジェクタの調整

画像とサウンドの調整


最適な画像モードの選択

別の画像モードをすばやく選択して、画像を調整することができます。画像モードではカラーやサイズなどのプロパティを制御でき、室内の照明やビデオ映像のタイプに最適な設定を簡単に選択できます（33ページの「画像とサウンドの調整」を参照）。


▲ 画像モード  ボタンを1回または数回押して、画像に最も適した画像モードを選択します。



以下の手順で、画像モードを使用中のビデオソースに最適なモードにカスタマイズすることもできます。

1. 画像モード  ボタンを押して調整したい画像モードを選択します。
2. **enter** を押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ**を表示します。
3. 満足する画像になるまで、設定値を調整します。



ヒント： オンスクリーンメニューや調整を終了するには、終了  ボタンを押します。

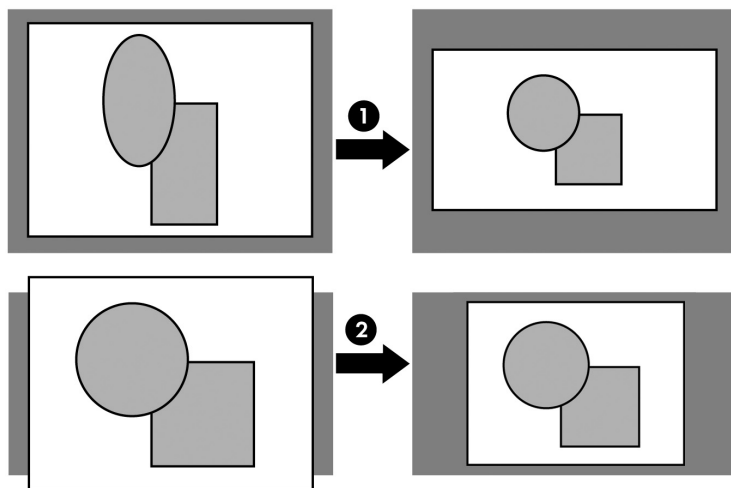
画像の形の調整

表示しているビデオソースの種類によっては、スクリーンに投影される画像の見え方が実際とは違っていたり、スクリーン内に収まらない場合があります。

- 使用中のビデオ機器からの出力がワイドスクリーンの場合、**enter** を押して、**入力**を表示し、**ワイドスクリーン入力をあり**に設定します。以下の図の❶を参照してください。
- ビデオ機器からの出力が標準である場合、**ワイドスクリーン入力をなし**に設定します。



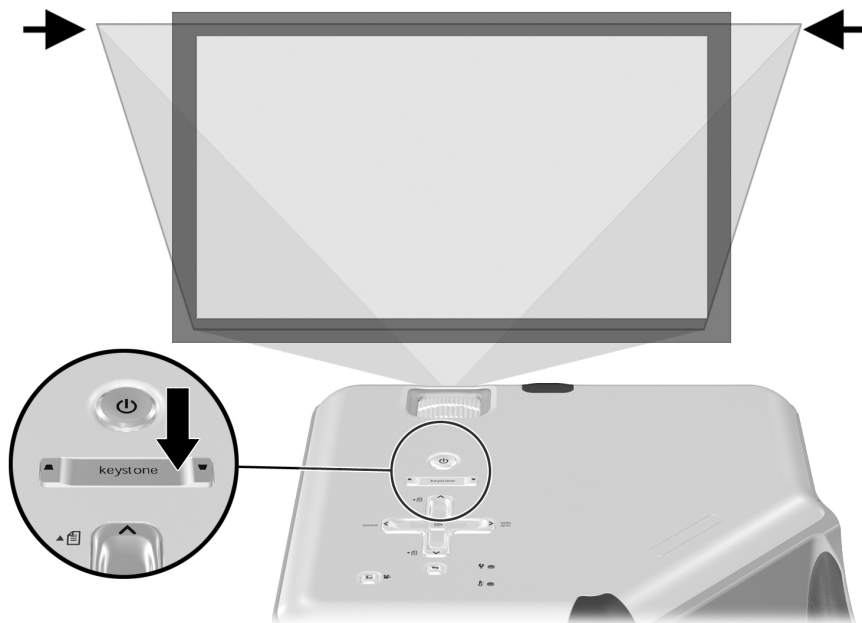
ヒント： ワイド投影スクリーンにワイドスクリーン画像を投影する場合、標準画像ではスクリーンサイズに合わないことがあります。この問題を解決するには、現在の画像モードを変更して投影画像のサイズを小さくします。**enter** を押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ**を表示し、**拡大を縮小**に設定します。以下の図の❷を参照してください。



画像のゆがみの調整

プロジェクタを上下に角度調整すると、スクリーンに投影された画像の上下の辺は水平でも、左右の辺が内側または外側に傾斜してしまうことがあります。このような問題を解決するには、キーストーン補正を行います。

▲ プロジェクタの**keystone**を押して、画像のゆがみがなくなるまで調整します。




オンスクリーンメニューでもキーストーン補正を行うことができます。**enter**を押して、**セットアップ > キーストーン**を表示し、画像を調整します。



ヒント： 画像の上辺および下辺がそれぞれ異なる方向に傾斜している場合、スクリーンの正面を真っ直ぐ向くように（片側にずれないように）プロジェクタを動かしてください。

画像のカラー調整

最高の色と画質を得るために、プロジェクタの画像を細かく調整できます。この調整は、使用する入力ソース機器と入力ポートごとに行う必要があります。調整を行う際は、以下の順番にしたがってください。入力ポートによっては、ご使用になれない設定があります。

1. 画像モード  ボタンを押して現在のソースに使用したい画像モードを選択します。
2. **enter** を押して、**画像**メニューを表示します。
3. **カラー設定 > 輝度**を表示します。黒の領域が最も暗くなるまで設定値を調整します。一時的に大きなキーストーン補正を行った場合は、画像の両側に黒い領域が見えることがあります。
4. **カラー設定 > コントラスト**を表示します。明るい領域の微細な部分がよく見えるようになるまで設定値を調整します。明るく白くぼんやりした部分、または織り目のある白い領域が見えることがあります。
5. **画像モードのカスタマイズ > 画像補正**を表示します。全体的に中程度の明るさになるまで設定値を調整します。黒と白の部分に対する影響が最小限になるように注意してください。
6. **画像モードのカスタマイズ > 色温度**を表示します。白とカラーが最もきれいに見えるまで設定値を調整します。
7. **カラー設定 > 彩度**を表示します。カラーが最も自然に見えるまで設定値を調整します。
8. **カラー設定 > 色合い**を表示します。カラーが最も自然に見えるまで設定値を調整します。
9. **画像モードのカスタマイズ > 白輝度**を表示します。カラーに影響しない程度に画像が明るくなるまで、必要に応じて0以上に設定値を調整します。
10. 必要ならばすべてのステップを繰り返します。

その他の画像の設定の調整

オンスクリーンメニューには、画像を細かく調整するためのさまざまな設定が用意されています。

1. **enter** を押して、**画像**を表示します。
2. 必要に応じて画像調整項目を変更します。

画像メニューでは、輝度、コントラスト、画像の形、また画像モードのカスタマイズなど、さまざまなオプションを設定できます。

すべての画像メニューの説明については、40ページの「画像メニュー」を参照してください。

音量の調整

以下の手順でプロジェクトのスピーカの音量を制御できます。

- プロジェクトの音量を変更するには、**enter**を押して、**サウンド > 音量**を表示し、設定を変更します。
- サウンドを一時的にオン・オフするには、**enter**を押して、**サウンド > ミュート**を表示し、サウンドをミュートします。

その他のサウンド設定の調整

1. **enter**を押して、**サウンド**を表示します。
2. サウンド調整を設定します。

サウンドメニューでは、ミュート、音量、スピーカの動作などのサウンド設定を調整できます。

すべてのオーディオメニューの説明については、41ページの「サウンドメニュー」を参照してください。

プロジェクトのセットアップの調整

1. **enter**を押して、**セットアップ**を表示します。
2. 必要に応じてセットアップ項目を設定します。

セットアップメニューでは、メニューの言語、プロジェクトの位置、メニューのタイムアウトなどを選択できます。

すべてのセットアップ項目の説明については、41ページの「セットアップメニュー」を参照してください。

不正使用の防止

プロジェクトの電源をオンにするために必要なシークレットボタンシーケンスを作成し、不正なユーザがプロジェクトを操作できないようにすることができます。ロック解除シーケンスは連続した4個から8個の矢印ボタンを使用します。ボタンを指定した順番で押さないと、プロジェクトの電源はオンになりません。ロック解除シーケンスを設定または消去するには、以下のステップを使用します。

1. **enter**を押して、**セットアップ > 詳細セットアップ > プロジェクトのロック**を表示し、**enter**を押します。
2. 古いロック解除シーケンスが設定されている場合、古いシーケンスどおりにボタンを押して、**enter**を押します。
3. 新しいロック解除シーケンスを設定するには、新しいシーケンス用の矢印ボタンを押して、**enter**を押します。

ロック解除シーケンスを消去してシーケンスによる保護を外すには、**enter**を押します。

4. 指示にしたがって、新しいシーケンスを確定し、**enter**を押します。



メモ: ロック解除シーケンスを設定すると、プロジェクトの電源をオンにするたびにシーケンスを押さなければなりません。このシーケンスで保護できるのはプロジェクトの電源をオンにするときだけで、常時保護するわけではありません。

ロック解除シーケンスを忘れた場合、プロジェクトのロックを解除する方法についてHPサポートにご連絡ください。その際は、プロジェクトと購入を証明する書類をお手元にご用意ください。

オンスクリーンメニューの使用

オンスクリーンメニューを使用して設定を変更する

オンスクリーンメニューの設定は、プロジェクトまたはリモコンのボタンを使って変更できます。

1. プロジェクトまたはリモコンの**enter**を押します。オンスクリーンメニューが表示されます。
2. 上 ▲または下 ▼を押して目的のメニューアイコンを強調表示し、右 ▶を押してそのメニューまで移動します。
3. 上 ▲または下 ▼を押して設定を強調表示し、**enter**を押して設定の調整を開始します。
4. 左 ◀または右 ▶を押すか、上 ▲または下 ▼を押して目的の設定を変更します。
5. **enter**を押してメニューに戻ります。
6. 別のメニューに移動するには、左 ◀を押してメニューを選択します。
7. オンスクリーンメニューを閉じるには、終了 ⏪ボタンを押します。

一定時間操作しないと、オンスクリーンメニューは自動的に閉じます。オンスクリーンメニューが閉じるまでの時間を変更するには、**enter**を押して、**セットアップ > メニューのタイムアウト**の順に選択します。



ヒント: オンスクリーンメニューや調整を終了するには、終了 ⏪ボタンを押します。

入カメニュー

説明図については、12ページの「バックパネル」を参照してください。

入カメニュー

VGA	VGA入力ポートに接続されたソースを表示します。
Sビデオ	Sビデオポートに接続されたソースを表示します。
コンポジット	コンポジットビデオポートに接続されたソースを表示します。
DVI	DVIポートに接続されたソースを表示します（一部のモデルでのみ使用可能）。
入力をスキャン	プロジェクタが入力信号を自動検出し、検出された次のソースを自動的に表示するかどうかを設定します。
ワイドスクリーン入力	ワイドスクリーン（16:9）入力対応機器を使用するときに設定し、スクリーンに応じて画像の高さを調整します。

画像メニュー

画像調整メニューの一部は特定の入力ポートが使用されているときのみ使用可能です。使用できない項目はオンスクリーンメニューでグレー表示されます。

画像メニュー

カラー設定...	画像とカラーを調整します。
輝度	画像を明るくしたり暗くしたりします。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差を設定します。
鮮明度	画像の鮮明度を調整します。
彩度	色の量を調整します。
色合い	色を赤または緑の方向にずらしします。
カラースペース	特定のコンポーネント入力の場合に、入力ソースが使用しているカラー規格のタイプを選択します。
カラー設定のリセット	これらのカラー設定をデフォルト設定に戻します。
VGA 設定...	コンピュータ入力の設定を調整します。
自動同期	プロジェクタを入力信号に再同期させます。信号の変化に応じた補正が可能です。
周波数	コンピュータに応じてプロジェクタのタイミングを調整します。
トラッキング	コンピュータに応じてプロジェクタのフェーズを調整します。
垂直オフセット	画像を投影領域内で上下に移動します。
水平オフセット	画像を投影領域内で左右に移動します。
画像モード	カラーおよび画像の設定をさまざまな表示条件に対してプリセットされている値の1つに合わせます。各入力ソースまたは表示環境に応じて、異なる画像モードを使用することができます。また、画像モードはカスタマイズすることも可能です。
画像モードのカスタマイズ...	現在の画像モードに関連する設定を変更します。
画像補正	画像のカラー、明るさ、その他の特性を細かく調整します。
白輝度	白い領域の輝度を増やします。

画像メニュー (続き)

色温度	色を赤または青の方向にずらします。
拡大	スクリーンへの画像の合わせ方を以下の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 自動調整: 画像を拡大せずに、自動的にスクリーンサイズに合わせます。• 1:1: 画像の1ドットを投影画像の1ドットに対応させて表示します。• 縮小: 標準的な形の画像をワイドスクリーンサイズに合わせます。
ピクチャシフト	投影エリア内で画像を動かします。ワイドスクリーンの映画など、ご覧になっている画像が投影エリア全体よりも小さい場合に便利です。
ピクチャシフトのリセット	ピクチャシフトを0（中央）にリセットします。
この画像モードをリセット	現在の画像モードをデフォルト設定に戻します。

サウンドメニュー

サウンドメニュー

ミュート	プロジェクタのスピーカを一時的にオフにします。
音量	スピーカの音の大きさを調整します。
内蔵スピーカ	内蔵スピーカのオン・オフを設定します。
サウンド設定のリセット	サウンド設定をデフォルト値に戻します。

セットアップメニュー

セットアップメニュー

言語	オンスクリーンメニューで使用する言語を選択します。
キーストーン	画像のゆがみを補正します。プロジェクタの位置がスクリーンに対して高すぎたり低すぎたりする場合は、この補正を行います。
キーストーンのリセット	キーストーン補正を0（補正なし）にリセットします。
ランプセーパー	ランプの電力レベルを低く設定します。
メニューのタイムアウト	オンスクリーンメニューを閉じるまでの入力待ち時間（秒数）を設定します。

セットアップメニュー (続き)

詳細セットアップ...	セットアップの追加設定を行います。
自動シャットダウン	プロジェクタが自動的にシャットダウンするまで、プロジェクタが入力信号を待つ時間を設定します。
プロジェクタの配置	プロジェクタの向き(正立/倒立、スクリーン前/後)に合わせて画像を調整します。必要に応じて画像を反転したり裏返したりします。
プロジェクタのロック	プロジェクタを稼動するときに入力を求められるシーケレットボタンシーケンスを設定または取り消します。
ランプ時間のリセット	新しいランプに交換したら、使用時間をリセットします。
すべての設定のリセット	すべてのメニュー設定をデフォルト値に戻します。

ヘルプメニュー

ヘルプ

	プロジェクタの情報とステータスを表示します。
診断テスト...	プロジェクタとリモコンの動作をチェックするためのテストを表示します。

4 プロジェクタのメンテナンス

日常のメンテナンス

プロジェクタのステータスを見る

プロジェクタのステータスを見るには:

▲ プロジェクタまたはリモコンの**enter**を押して、**ヘルプ**を表示します。

画面にプロジェクタの情報とステータスが表示されます。

プロジェクタのレンズのクリーニング

以下の注意事項にしたがって、プロジェクタの前面レンズを清掃してください。レンズ内側の面はどれも清掃することはできません。

- レンズ表面のキズや損傷を最も軽くするには、脱イオン処理したきれいな乾いた空気でレンズ表面に付着した埃を吹き飛ばしてください。
- この方法で不十分な場合は、次の方法を使ってください。
 - a.きれいな乾いた布で、レンズを同一方向に拭きます。レンズ表面を往復させて拭かないようにしてください。
 - b. 布が汚れていたり、レンズに汚れが付いた場合は、布を洗ってください。布を洗ってもきれいにならない場合、あるいは生地が傷んでいる場合は、別の布を使ってください。



注意: クリーニングには以下のような特別な注意が必要です。

- レンズ表面に液体やクリーナーを直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナーがレンズを損傷するおそれがあります。
- 清掃用の布を洗う際に柔軟剤を使用したり、乾かすときに柔軟シートを使用したりすることは避けてください。布に付いた化学物質がレンズの表面を損傷するおそれがあります。
- 清掃用の布がレンズに触れたままの状態ですぐに長時間保管しないでください。布の染料がレンズに移るおそれがあります。布をケースなどに入れないで放置しておくとおそれがあります。

ランプモジュールの交換

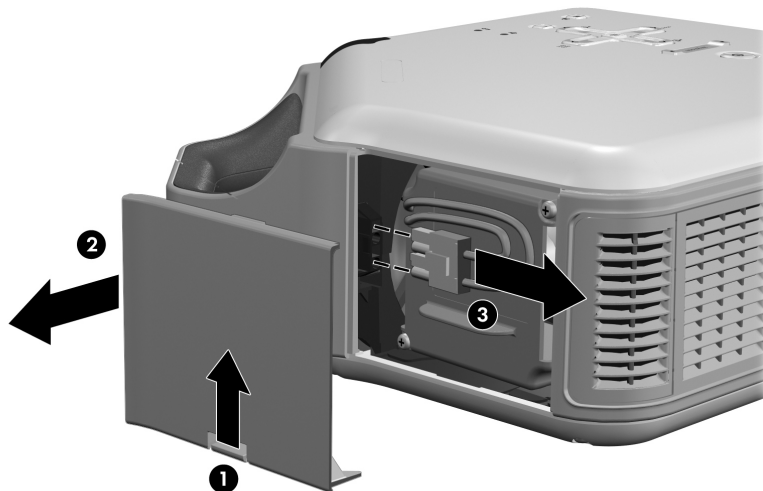
プロジェクタを長時間使用していると、プロジェクタのランプの明るさが少しずつ減少するとともに、ランプが破損しやすくなります。新しいランプに交換すれば、出荷時のようにいつでも真新しい明るさを取り戻すことができます。ランプ警告メッセージが表示された場合は、ランプを交換するようにお勧めします。



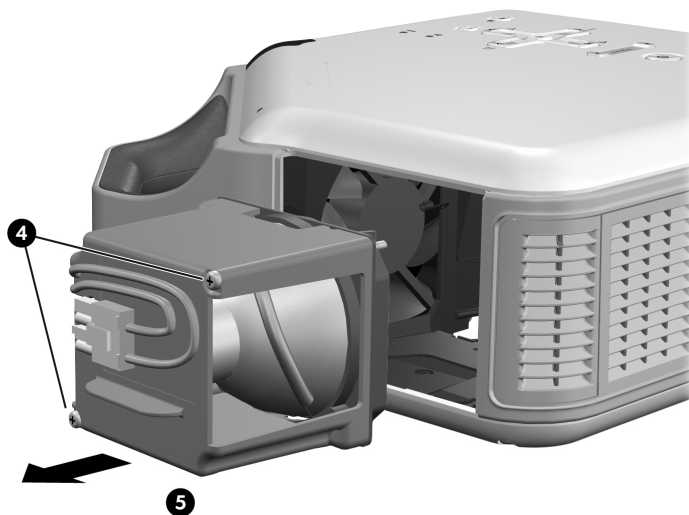
警告 ランプモジュールを交換する際は、特別な注意が必要です。

- 怪我を避けるため、ランプモジュールを取り外す際には割れたガラスがないかどうか注意してください。天吊りの場合、ランプモジュールを取り外す際は目の保護用のゴーグルと手袋を着用してください。ランプが割れている場合は、ガラスの破片が飛び散る恐れがあります。修理についてはHPまでご連絡ください。
- ランプには少量の水銀が含まれています。万一、ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会 <http://www.eiae.org> にお問い合わせください。
- ランプ部品は非常に高温で動作するため、ランプモジュールは30分ほど待ってから取り外してください。

1. プロジェクタをオフにし、約30分間冷却します。
2. 電源コードを取り外します。
3. ランプカバーのリリースラッチ ❶ を押して、カバー ❷ を取り外します。
4. ランプコネクタのリリースラッチを押して、コネクタ ❸ を外します。



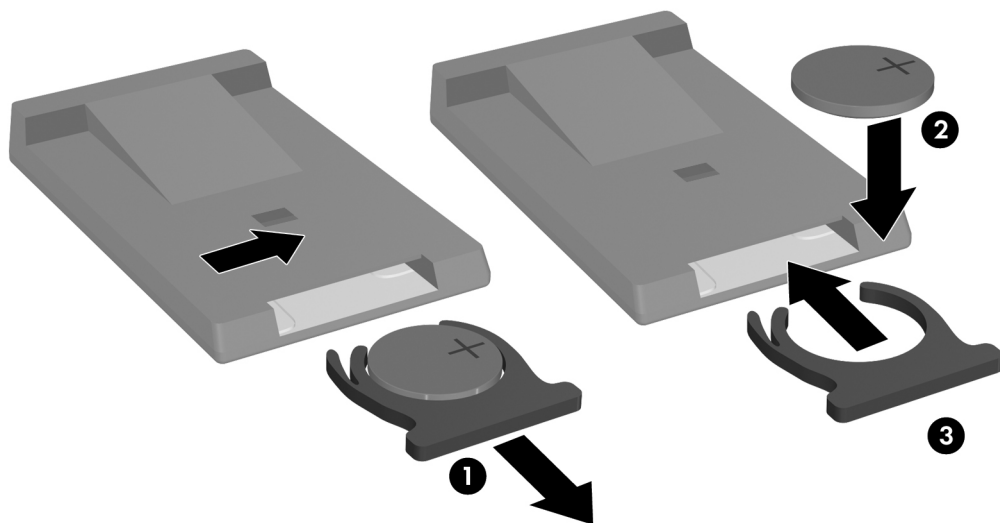
5. ランプモジュールの2本のねじ ④ を緩め、モジュール ⑤ を引き出します。



6. 新しいランプモジュールをプロジェクタに挿入し、2本のネジを締めます。
7. ランプコネクタを差し込みます。
8. 所定の位置にランプカバーをカチッというまで差し込みます。
9. プロジェクタの電源をオンにします。ウォームアップ時間が過ぎてもランプが点灯しない場合は、ランプを取り付け直してください。
10. **enter**を押して、**セットアップ > 詳細セットアップ > ランプ時間のリセット**を表示し、**enter**を押します。

リモコンの電池を交換する

1. ボールペンなどの先でバッテリーラッチを中央に動かしてそのままの位置で固定しながら、バッテリーホルダ①を引き出します。
2. バッテリーホルダ②に新しいバッテリーを差し込みます。
3. ホルダ③をリモコンに押し込みます。



古い電池を廃棄するときは、電池の廃棄またはリサイクルに関する規制について、自治体または廃棄業者にお問い合わせください。

プロジェクトのアップグレード

ファームウェアのアップデート

HPではプロジェクトの性能改善のために、プロジェクトのファームウェアの最新バージョンを随時リリースしています。本プロジェクトのファームウェアバージョンは、プロジェクトのオンスクリーンメニューの**ヘルプ**に表示されます。最新バージョンの有無は、http://www.hp.com/go/proj_firmware をご確認ください。

USB 接続によるアップデート

1. USB ポートを持つコンピュータで、HP プロジェクトのアップグレード Web サイトにアクセスし（このセクションの最初を参照）、最新のUSBアップグレード用ファイルをダウンロードします。
2. プロジェクトのUSBポートとコンピュータのUSBポートをUSBケーブル（HPから入手可能）で接続します。
3. コンピュータ上で、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてアップグレードを実行します。画面に表示される指示にしたがってください。

5 プロジェクタの設置

プロジェクタの設置方法

ケーブルの選択

プロジェクタをある場所に固定して使用、または長いケーブルなどで移動できるようにして使用する場合、以下のアドバイスを参考にして設置プランをたててください。

- 高品質のケーブルを使用します。75 オーム同軸ケーブルとコネクタが付いたビデオケーブルを使用し、高解像度映像用には、低損失ケーブルをご使用ください。標準のオーディオには、シールドされたオーディオケーブルを使用し、デジタルオーディオには、75 オーム同軸ケーブルをご使用ください。
- ケーブルの長さはできるだけ短くしてください。6m以上のビデオケーブルの場合は、低損失同軸ケーブルをご使用ください。6m以上の標準のオーディオケーブルの場合は、12ゲージワイヤをご使用ください。
- オーディオまたはビデオケーブルは電源やネットワークケーブルの近辺をはわせないでください。ケーブルどうしをクロスさせる場合は、直角でクロスさせてください。
- 壁内にケーブルを敷設する場合、Underwriters Laboratories (UL)などの認証を受けたケーブルをご使用ください。
- 吊り天井の上にケーブルを敷設し、天井の上のスペースが他の部屋の天井とつながっている場合は、プレナム認定ケーブルを使用する必要があります。ダクト内にケーブルをはわせる場合もプレナム認定ケーブルをご使用ください。
- ケーブルを最終的に設置する前に、セットアップが正しいこと、また終端のケーブルが開口部に面していることを確認してください。

卓上に設置する

この設置方法については、第1章で詳しく説明しています。詳細については、16ページの「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。

天井に設置する



警告 不適切な設置が原因で起こるケガなどを防ぐために、プロジェクタの天井設置は専門の技術者にお任せになることをお勧めします。

1. HP天井取付けキットを使用して 프로젝터를天井に取り付けます。設置方法については、天井取付け器具に付属の説明書を参照してください。
2. 프로젝터를天井に設置したら、天井設置に合わせて 프로젝터の設定を変更します。**enter**を押して、**セットアップ>詳細セットアップ> 프로젝터の配置**を表示し、**天吊り（スクリーン正面）**を選択します。

背面投影用に設置する

1. 背面投影用の半透明スクリーンの背面から1～10 m離れた位置に 프로젝터를配置します。
詳細な手順については、16ページの「 프로젝터のセットアップ」または49ページの「天井に設置する」を参照してください。
2. **enter**を押して、**セットアップ>詳細セットアップ> 프로젝터の配置**を表示します。次に、**スクリーン裏側**または**天吊り（スクリーン裏側）**を選択します。

프로젝터のロック

本 프로젝터には、ケーブルとロック（コンピュータ販売店などで広く市販されている Kensington MicroSaver ロックシステムなど）で 프로젝터를固定するためのスロットが装備されています。

1. 机の脚などの固定された物にケーブルを巻きつけます。ケーブルを固定物の回りで引き結びを作り、外れないことを確認します。
2. ロック ❶ を穴に差し込み、キー ❷ を回します。





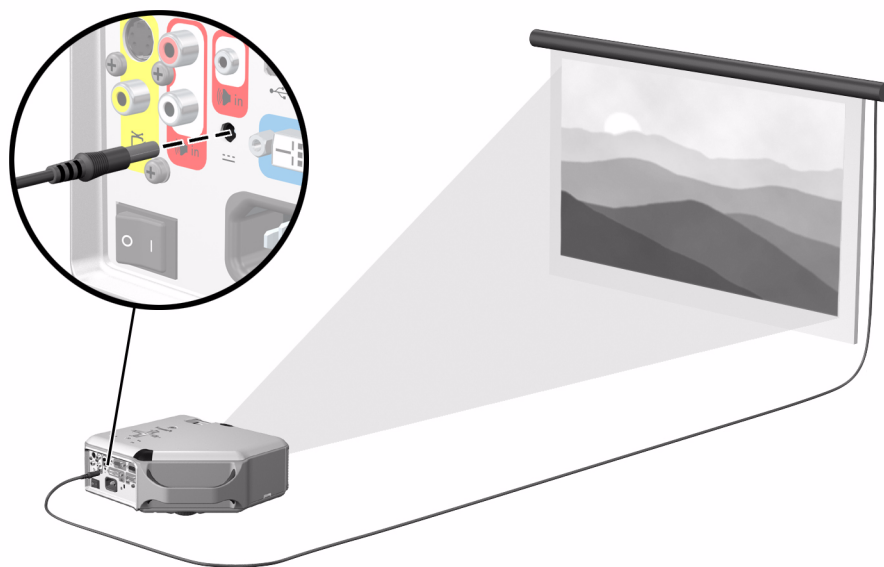
ヒント： ケーブルまたはブラケットを引き結びでプロジェクタのハンドルに結びつけ、プロジェクタを固定させることもできます。

外部アクセサリの制御

プロジェクタに12Vトリガ出力ポートが装備されている場合は、複数のアクセサリを自動的に制御できます。特定タイプのアクセサリは12V信号を元に、監視対象スクリーンを上下させるなどの動作を開始します。出力ソースはプロジェクタがオンになるとDC12Vの信号を送出します（最大出力電流200mA）。

必要なもの：

- 2芯ケーブル 3.5mm x 1.3mm バレルコネクタ付き（内側の接点12V）



ルームコントローラの接続

プロジェクトにシリアルポートがある場合、シリアル（RS-232）ケーブルを使用して、プロジェクトをルームコントローラに接続することができます。以下のコマンドを使用してルームコントローラを設定したら、ルームコントローラでプロジェクトやその他のコンポーネントを操作することができます。

シリアル接続

プロジェクトのシリアルポートは、標準のシリアル（RS-232）ケーブルを使用します。

- ピン2: プロジェクトへの送信データ (RxD)
- ピン3: プロジェクトからの送信データ (TxD)
- ピン5: グランド

ルームコントローラは以下のシリアル（RS-232）設定が必要です。

- 通信速度 9600 bps
- 1スタートビット+8データビット (D0=LSB、D7=MSB)+1ストップビット
- パリティなし
- 全2重通信チャネル（フロー制御なし）
- ハンドシェーキングなし

ルームコントローラのコマンドの例

以下の例では、“<CR>”はキャリッジリターン、“<LF>”は改行を示します。

コマンドはプレフィックス（*）、コマンド名、必要なパラメータ、終端文字のキャリッジリターン<CR>から構成される「リクエスト」としてプロジェクトに送信されます。

* command = parameter <CR>

リクエストにはASCII英数字のみ使えます。ブランク（スペース）も使えますが、キーワードと数字内に限られます。改行<LF>は無視されます。

以下の表は、さまざまなリクエストに使用できる用途別シンタックスです。

タスクの内容	使用するリクエストシンタックス
設定を指定値に変更する	*command=value<CR>
現在の設定を確認する	*command=?<CR>
設定値を増やす	*command=+<CR>
設定値を減らす	*command=-n<CR>
アクションを呼び出す（パラメータは不要）	*command<CR>

一般に、プロジェクトに送信されるリクエストはそれぞれ1つまたは複数の通知メッセージを生成し、そのメッセージはルームコントローラに送信されます。プロジェクトが開始するアクションもまた通知メッセージを生成できます。

プロジェクトは設定が変更されるたびに通知メッセージを送信し、コントローラからリクエストがあったことやボタンが押されたりメニューが変更されたなどのアクションがあったことを知らせます。リクエストされた設定によっては変更にかかる時間がかったり、段階的に実行されるものもあるため、リクエストは遅延の通知を生成することがあります。

以下の表はさまざまな状況に応じて生成される通知メッセージのタイプを示します。

リクエストのタイプ	生成される通知タイプ
設定の変更	リクエストコマンドをエコーし、結果値を表示： リクエスト: *BRT=65<CR> 通知: *BRT=65<CR><LF>
設定の問い合わせ	リクエストコマンドをエコーし、結果値を表示： リクエスト: *CON=?<CR> 通知: *CON=40<CR><LF>
アクションの実行	リクエストコマンドをエコー： リクエスト: *NXT<CR> 通知: *NXT<CR><LF>

不正なコマンドがあると、以下のタイプの通知を生成します。

- コマンドの頭にアスタリスクがない - 応答なし
- 認識されないコマンド名 - コマンドに“?”を追加

- 現在使用できないコマンド - コマンドに“?”を追加
- 無効なパラメータ - 現在の値を付けたコマンド
- 不要なパラメータが付いたアクションコマンド - アクションコマンド
- 使用できないアクションコマンド - アクションコマンド

以下の例は、プロジェクトがアクティブな入力ソースを変更するためのリクエストにどのように応答するかを簡単に説明したものです。最後の3つの通知は遅延されていることに注目してください。

リクエスト: *RSRC=4<CR>

通知: *RSRC=4<CR><LF> (リクエストに回答)

*SRC=0<CR><LF> (プロジェクトはソース4の取得を試みているが、有効なソースが見つからない)

*SRC=4<CR><LF> (ソース4は現在アクティブ)

*BRT=60<CR><LF> (ソース4の輝度を変更された)

*CSPC=?<CR><LF> (この入力ではカラースペースはサポートされていない)

ルームコントローラのコマンド

以下の表で特定コマンドのパラメータが「なし」になっている場合、そのコマンドにパラメータは不要です。一部のコマンドはプロジェクトの電源がオン、つまり STAT=1 のときにのみ有効です。また、一部のコマンドは特定の入力ソースがアクティブなときのみ使用可能です。

ソース機能

コマンド	パラメータ	説明
SRC	?	現在アクティブな入力ソースを問い合わせます: 0=アクティブなソースなし、1=VGA入力、3=コンポジットビデオ、4=Sビデオ、8=DVI
RSRC	1, 3, 4, 8, ?	アクティブな入力ソースとして指定したソースの使用を試みます、またはリクエストされた最後のソースを問い合わせます: 1=VGA入力、3=コンポジットビデオ、4=Sビデオ、8=DVI
NXT	なし	次の入力ソースに切り替えます。
AUTO	0, 1, ?	入力を自動検出するように設定または問い合わせます。信号: 0=検出なし、1=検出

ビデオ機能

コマンド	パラメータ	説明
CSPC	0 ~ 2, ?	アクティブなカラースペースを設定または問い合わせます: 0=RGB, 1=YCbCr, 2=YCbCr
PMOD	0,1,5,?	画像モードを設定または問い合わせます: 0=グラフィックス、1=ビデオ、5=カスタム
VSHF	value, +, -, ?	投影された画像の垂直方向の移動を設定または問い合わせます: 使用可能な範囲はアクティブな入力ソースによって決定されます。
HSHF	value, +, -, ?	投影された画像の水平方向の移動を設定または問い合わせます: 使用可能な範囲はアクティブな入力ソースによって決定されます。
WHIT	0 ~ 10, +, -, ?	白輝度を設定または問い合わせます。
BRT	0 ~ 100, +, -, ?	輝度を設定または問い合わせます。
CON	0 ~ 100, +, -, ?	コントラストを設定または問い合わせます。
SAT	0 ~ 100, +, -, ?	彩度を設定または問い合わせます。
TNT	-45 ~ 45, +, -, ?	色合いを設定または問い合わせます。
CTMP	0 ~ 2, ?	色温度を設定または問い合わせます: 0=暖色、1=ニュートラル、2=寒色
SHRP	0 ~ 12, +, -, ?	鮮明度を設定または問い合わせます。
PENH	0 ~ 6, +, -, ?	画像補正に関する設定を設定または問い合わせます。
KEYV	-50 ~ 50, +, -, ?	垂直方向のキーストーンを設定または問い合わせます: 0=キーストーン補正なし、1~50=画面上部を縮める、-1~-50=画面下部を縮める
ASPT	0, 1, 4, ?	アスペクト比を設定または問い合わせます: 0=1:1、1=自動調整、4=縮小
SYNC	なし	プロジェクトをアクティブなコンピュータ入力ソースと再同期させます。
FREQ	-50 ~ 50, +, -, ?	アクティブなコンピュータ入力ソースに応じて、プロジェクトのタイミングを設定または問い合わせます。
TRK	value, +, -, ?	アクティブなコンピュータ入力ソースとのプロジェクトの同期を設定または問い合わせます。

ビデオ機能 (続き)

コマンド	パラメータ	説明
VPOS	<i>value</i> , +, -, ?	投影された画像の垂直方向の位置を設定または問い合わせます。使用可能な範囲はアクティブなコンピュータ入力ソースの最大および最小許容値です。
HPOS	<i>value</i> , +, -, ?	投影された画像の水平方向の位置を設定または問い合わせます。使用可能な範囲はアクティブなコンピュータ入力ソースの最大および最小許容値です。
HIDE	0, 1, ?	画像の非表示（空白画面）を設定または問い合わせます: 0 = 表示、1 = 非表示
WIDE	0, 1, ?	ワイドスクリーンモードを設定または問い合わせます: 0 = 標準、1 = ワイド
KEYR	なし	キーストーン値をゼロにリセットします。

オーディオ機能

コマンド	パラメータ	説明
ミュート	0, 1, ?	オーディオのミュートを設定または問い合わせます: 0 = ミュートしない、1 = ミュート
VOL	0 ~ 31, +, -, ?	音量を設定または問い合わせます: 0 = オフ、31 = 最大
INTSP	0, 1, ?	内蔵スピーカの使用を設定または問い合わせます: 0 = 無効、1 = 有効

セットアップ機能

コマンド	パラメータ	説明
LANG	0 ~ 10, ?	プロジェクタで使用する言語を設定または問い合わせます: 0 = 英語、1 = フランス語、2 = イタリア語、3 = ドイツ語、4 = ポルトガル語、5 = スペイン語、6 = 繁体字中国語、7 = 簡体字中国語、8 = 韓国語、9 = 日本語、10 = チェコ語
LSAV	0, 1, ?	低電力動作モードを設定または問い合わせます: 0 = 標準、1 = 低電力
LHRS	?	ランプが使用されてきた時間（10分の1単位）を問い合わせます。

セットアップ機能 (続き)

コマンド	パラメータ	説明
THRS	?	プロジェクトが使用されてきた合計時間 (10分の1単位) を問い合わせます。
POS	0 ~ 3, ?	プロジェクトの位置を設定または問い合わせます: 0=スクリーン正面、1=天吊り(スクリーン正面)、2=スクリーン裏側、3=天吊り(スクリーン裏側)
TMO	5 ~ 20, ?	メニューの表示時間 (秒数) を設定または問い合わせます。
PTMO	0, 3 ~ 6, ?	電源のタイムアウト時間を設定または問い合わせます: 0=なし、3=15分、4=30分、5=60分、6=120分
VERS	?	プロジェクトのモデル番号とファームウェアバージョンを問い合わせます。 以下の形式で通知されます。 *VERS="proj_model:proj_fw"
SNUM	?	プロジェクトのシリアル番号を問い合わせます。

電源とステータスに関する機能

コマンド	パラメータ	説明
SHDN	なし	プロジェクトをクールダウン状態に移行させ、その後、スタンバイ状態に移行させます。プロジェクトはクールダウン状態 (STAT=3) およびスタンバイ状態 (STAT=0) に入るごとに通知を送ります。このキーワードを実行するには、プロジェクトのステータスがオン (STAT=1) である必要があります。 クールダウン状態の通知からスタンバイ状態の通知までの間に、STAT以外のリクエストを送信しないでください。送信してしまうと、予期しない結果が起こる可能性があります。
WまたはWAKE	なし	プロジェクトをウォームアップ状態に移行させ、その後、オン状態に移行させます。プロジェクトはウォームアップ状態 (STAT=2) に入ると通知を送り、その後およびオン状態 (STAT=1) に入ると通知を送ります。このキーワードを実行するには、プロジェクトのステータスがスタンバイ (STAT=0) である必要があります。 ウォームアップ状態の通知からオン状態の通知までの間に、STAT以外のリクエストを送信しないでください。送信してしまうと、予期しない結果が起こる可能性があります。

電源とステータスに関する機能 (続き)

コマンド	パラメータ	説明
STAT	?	プロジェクトの現在の状態を問い合わせます: 0=スタンバイ状態 (オフ)、1=オン、2=ウォームアップ状態、3=クールダウン状態
ALERT	リクエストではありません	システムアラート条件が起こると通知します: 0=ランプの寿命に関する警告、1=ランプの寿命に達した、2=ランプ障害、3=ランプの問題、4=内部温度が高すぎる、5=ファンの問題、6=周辺温度が高すぎる、7=カラーホイールの問題、8=ランプカバーが開いている アラートを送信するのはプロジェクトのみです。またアラートをリクエストで使用することはできません。

コマンドとキーの関係

コマンド	パラメータ	説明
BACK	なし	キーパッドの[終了矢印]キー操作をシミュレート
ENTER	なし	キーパッドの[ENTER]キー操作をシミュレート
LEFT	なし	キーパッドの[左矢印]キー操作をシミュレート
RIGHT	なし	キーパッドの[右矢印]キー操作をシミュレート
UP	なし	キーパッドの[上矢印]キー操作をシミュレート
DOWN	なし	キーパッドの[下矢印]キー操作をシミュレート

6 問題の解決

トラブルシューティングのヒント

プロジェクトに問題が生じた場合は、問題に最も近い項目を以下から選んで参照してください。

- 59ページの「警告ライトの問題」
- 60ページの「始動時の問題」
- 60ページの「画像の問題」
- 63ページの「サウンドの問題」
- 63ページの「停止の問題」
- 63ページの「リモコンの問題」



ヒント： これらに記載されている方法で問題が解決しない場合は、<http://www.hp.com/support> の追加情報もご覧ください。HP へのお問い合わせ方法については、プロジェクトに同梱のサポートガイドを参照してください。

警告ライトの問題

警告ライトが両方とも点滅している場合：

- プロジェクタの電源が切れたあと、プロジェクトが冷えるまで待ちます。プロジェクトを再始動させたあとでこのような状況になった場合、内蔵のコンポーネントに障害があります。HP にご連絡ください。

赤い温度ライトが点灯または点滅している場合：

- プロジェクタの電源が切れたあと、プロジェクトが冷えるまで待ちます。プロジェクトの換気口の周囲に換気口を塞いでいるものがないか確認し、埃や障害物があれば取り除きます。また、高温の元となる熱源があれば部屋から取り除きます。温度と湿気制限を守ってください（65 ページの「仕様」を参照）。プロジェクトを再始動させたあとで警告ライトが点灯または点滅する場合は、HP までお問い合わせください。

赤いランプライトが点灯または点滅している場合：

- プロジェクタの電源が切れたあと、プロジェクトが冷えるまで待ちます。プロジェクトを再始動させたあとで警告ライトが点灯または点滅する場合は、新しいランプと交換してください。新しいランプモジュールを取り付けたあとでこのような状況が発生した場合は、ランプモジュールをいったん取り外し、取り付けなおしてください。それでもまだ問題が解決しない場合は、HP までお問い合わせください。

赤いランブライトがすばやく点滅している場合：

- プロジェクタ側面のランプを覆うカバーが正しく取り付けられ、ランプに密着していることを確認します。カバー上部のタブと底部のラッチを確認します。

始動時の問題

ライトが点灯しない、または音がしない場合：

- 電源ケーブルがプロジェクタにしっかり接続されており、ケーブルのもう一方の端が通電している電源コンセントに差し込まれていることを確認します。
- 主電源切断スイッチがオンになっていることを確認します。
- 電源ボタンをもう一度押します。
- 電源コードをコンセントから取り外し、15 秒ほどしたら差し込み、もう一度電源ボタンを押します。

画像の問題

空白の画面に「スキャニング」または「待機中」というメッセージが表示される場合：

- 正しいソース名が選択されるまで、プロジェクタまたはリモコンの **source** ボタンを 1 回または数回押します。
- 外部ソースの電源がオンで、プロジェクタに接続されていることを確認します。
- コンピュータ接続の場合は、ノートブックコンピュータの外部ビデオポートがオンになっていることを確認します。コンピュータのマニュアルを参照してください。一部のノートブックでは、FN+F4 または FN+F5 ファンクションキーを押して外部ビデオポートをオンにする必要があります。

正しくない入力ソースが表示される場合：

- プロジェクタまたはリモコンの **source** ボタンを 1 回または数回押して、別のアクティブな入力ソースを選択します。

画像の焦点が合っていない場合：


- レンズカバーが外れていることを確認します。
- オンスクリーンメニューを表示しながら、フォーカスリングを調整します（画像の大きさは変化しないはずです。変化する場合はフォーカスでなくズームを調整しています）。
- 投影スクリーンがプロジェクタから 1～10 m の距離にあることを確認します。
- 投影レンズを見て、汚れていたら清掃します。

- コンピュータに接続する場合、コンピュータの画面の解像度をプロジェクタと同じ解像度(800 × 600 または 1024 × 768) に設定します (65 ページの「仕様」を参照)。コンピュータでマルチモニタに設定している場合は、プロジェクタ用のモニタの解像度を調整します。
- コンピュータがSビデオポートに接続されている場合、コンピュータの画面で見るほど画像の解像度は高くできません。

画像が上下逆または反転状態で表示される場合:

- プロジェクタの位置設定が間違っています。**enter**を押して**セットアップ > 詳細セットアップ > プロジェクタの配置**を表示し、正しい設定を選択します。


画像が小さすぎるか大きすぎる場合:

- プロジェクタ上部にあるズームリングを調整します。
- プロジェクタをスクリーンに近く、または遠くに動かします。
- プロジェクタまたはリモコンで、画像モード  ボタンを1回または数回押して、その画像に適したサイズに調整する画像モードがあるか確認します。
- **enter**を押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ > 拡大**を表示します。別の設定を試してみます。
- 使用中のビデオ機器からの出力がワイドスクリーンの場合、**enter**を押して**入力**を表示し、**ワイドスクリーン入力**を**あり**に設定します。それ以外の場合は、**なし**に設定します。

画像に台形歪みがある場合:

- できるだけ、プロジェクタの位置をスクリーンの中央、スクリーンの下端より下、または上端より上の高さになるように調節します。
- プロジェクタで、画像の両端が垂直になるまで **keystone** ボタンを押します。

画像が引き伸ばされている場合:

- プロジェクタまたはリモコンで、画像モード  ボタンを1回または数回押して、その画像に適したサイズに調整する画像モードがないかどうか確認します。
- **enter**を押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ > 拡大**を選択します。別の設定を試してみます。
- 使用中のビデオ機器からの出力がワイドスクリーンの場合、**enter**を押して**入力**を表示し、**ワイドスクリーン入力**を**あり**に設定します。それ以外の場合は、**なし**に設定します。

投影画像の色がわずかに違って見える場合:

- 36 ページの「画像のカラー調整」を参照してください。
- **enter**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**を表示し、カラーテストを実行します。

投影画像の色がまったく違って見える場合:

- ケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないことを確認します。
- **enter**を押して、**画像 > カラー設定 > カラースペース**を表示します。別の設定を試してみます。

- **enter**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**を表示し、カラーテストを実行します。
- **enter**を押して、**画像 > カラー設定 > カラー設定のリセット**を表示し、**enter**を押します。
- **enter**を押して、**セットアップ > すべての設定のリセット**を表示し、**enter**を押します。

画像がクリアではない場合（ゴーストイメージ、不鮮明、画質が悪い）：

- 使用中のビデオケーブルが定格 75 オームの同軸ケーブルであることを確認します。これ以外のケーブルやインピーダンスでは、画質が劣化するおそれがあります。
- ビデオソースとプロジェクタを接続するビデオケーブルのほうがおそらく品質が高い可能性があります。49ページの「ケーブルの選択」を参照してください。

画像設定のいくつかが完全に間違っているように見えるがこれを修正できない場合：

- **enter**を押して、**画像 > カラー設定 > カラー設定のリセット**を表示し、**enter**を押します。
- **enter**を押して、**セットアップ > すべての設定のリセット**を表示し、**enter**を押します。

コンピュータ接続で、表示画像がスクロールしたり切れたりする場合：

- プロジェクタまたはリモコンの**auto-sync**ボタンを押します。
- すべてのデバイスの電源をオフにします。その後、まずプロジェクタの電源をオンにし、次にノートブックまたはデスクトップコンピュータの電源をオンにします。
- 上記の手順で表示画像が直らなかった場合、ノートブックまたはデスクトップコンピュータの解像度を800x600または1024 × 768に設定します（65ページの「仕様」を参照）。コンピュータでマルチモニタに設定している場合は、プロジェクタ用のモニタの解像度を調整します。

コンピュータ接続で画像がちらついたり不安定になったりする場合：

- プロジェクタまたはリモコンの**auto-sync**ボタンを押します。
- **enter**を押して、**画像 > VGA 設定**を表示し、**周波数**または**トラッキング**を調整します。

コンピュータ画面から画像が消える場合：

- ノートブックコンピュータでは、外部 VGA ポートと内蔵画面の両方をオンにできる場合があります。コンピュータのマニュアルを参照してください。
- VGA 出力ポートにモニタを接続します。

コンピュータ画面からの文字列や行が乱れたり、揃っていない場合：

- フォーカスの調整を確認します。
- **enter**を押して、**セットアップ > キーストーンのリセット**を表示し、**enter**を押します。

サウンドの問題

プロジェクトから音がまったく出ない場合：

- プロジェクトとソース機器がオーディオケーブルで確実に接続されていることを確認します。
- **enter**を押して、**サウンド**を表示し、**ミュート**がオフで、**音量**が正しいことを確認します。
- **enter**を押して、**サウンド>内蔵スピーカ**を表示し、スピーカがオンになっていることを確認します。
- **enter**を押して、**ヘルプ>診断テスト**を表示し、サウンドテストを実行します。
- ビデオデッキ、ビデオカメラ、コンピュータなどのソース機器のミュートや音量の設定が正しいことを確認します。

停止の問題

プロジェクトがすべての操作に応答しない場合：

- 可能な場合は、プロジェクトの電源をオフにし、電源コードを外します。15秒以上経過したら電源コードを接続して電源をオンにします。

表示中にランプが消える場合：

- 小さな電源サージのためにランプが消える場合があります。これは正常な動作です。数分待つからプロジェクトをオンにしてください。
- 赤い警告ライトが点灯または点滅している場合は、59 ページの「警告ライトの問題」を参照してください。

ランプが切れるか、破裂音がある場合：

- ランプが切れて破裂音が聞こえた場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクトの電源は入りません。
- ランプが割れているとガラス破片の処理が必要になる場合があるため、修理について HP までお問い合わせください。

リモコンの問題

リモコンが動作しない場合：

- プロジェクトの前面または背面にあるリモコンの受光部が何かで覆われていないことを確認します。プロジェクトから9 m以内の距離に近づいてください。
- リモコンをスクリーンまたはプロジェクトの前面または背面に向けます。
- プロジェクトの正面または背面の、プロジェクトとの間に障害物がなく、操作範囲内の位置にリモコンを動かします。
- **enter**を押して、**ヘルプ>診断テスト**を表示し、リモコンのテストを実行します。
- リモコンの電池を交換します。

プロジェクタのテスト

プロジェクタの診断テストの実行

オンスクリーンメニューにある診断テストを使って、プロジェクタとリモコンの動作が正しいかどうかを検証できます。

1. **enter**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**を表示します。
2. テストを選択し、**enter**を押します。
3. 画面に表示される指示にしたがいます。

7 参考情報

この章には、プロジェクタの仕様、安全情報、規制情報を記載します。

仕様

HPでは常に製品の改良に努めており、以下の仕様は変更される可能性があります。最新の仕様については、HP Webサイト <http://www.hp.com> をご覧ください。

プロジェクタの仕様

サイズ	280 × 255 × 102 mm
重量	3.5 kg
解像度	vp6310 シリーズ: SVGA (800 × 600) vp6320 シリーズ: XGA (1024 × 768)
投影方式	DLP
ビデオコネクタ	VGA入力 (D-sub)、コンポーネント/ビデオ入力用ケーブルをオプションで用意 VGA出力 (D-sub) Sビデオ (mini-DIN) コンポジットビデオ (RCA) DVI-D (vp6320 シリーズ)
オーディオコネクタ	ステレオ入力 (RCAX2、ミニプラグ)
その他のコネクタ	USB 1.1 type B RS-232 コントロール (vp6320 シリーズ) DC12V トリガ出力 (vp6320 シリーズ)
ビデオの互換性	NTSC 3.58 MHz および 4.43 MHz PAL B, D, G, H, I, M, N SECAM B, D, G, K, K1, L HDTV (480i/p, 575i/p, 720p, 1080i) HDCP 対応 DVI (vp6320 シリーズ) PC ビデオ最大 SXGA

プロジェクタの仕様 (続き)

赤外線受光部	プロジェクタの前面および背面
ランプ	210 ワットランプ ランプ平均寿命 4000 時間 (元の輝度の半分まで) ランプセーバーモードではランプ電力が 168 ワットまで低減されます。 交換用ランプ: L1695A
光学	焦点距離 1 ~ 10m 1.16:1 光学ズーム vp6310 シリーズ: 投影比 1.7:2.0(距離/幅) 128% オフセット (半分の高さに対応) vp6320 シリーズ: 投影比 1.8:2.1(距離/幅) 125% オフセット (半分の高さに対応)
ライトエンジン	vp6310 シリーズ: 0.55 インチ。12° DDR DMD vp6320 シリーズ: 0.7 インチ。12° DDR DMD
オーディオ	モノオーラルスピーカ、ピーク出力 6 ワット
騒音レベル	36dBA 未満
垂直角度調整	0° ~ 9°
垂直キーストーン補正	±20%
リモコン	USB マウス
設置方法	天井/卓上、フロント/リアプロジェクション
セキュリティ	ケンジントントロック使用可能 ロック解除シーケンスにより不正使用を防止
電源	100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz.

プロジェクトの仕様 (続き)

環境

稼動時:

温度: 10 ~ 35℃

湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと

高度: 3,000m、25℃まで

保管時:

温度: -20 ~ 55℃

湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと

高度: 12,000 mまで

ビデオモードの互換性

互換性

解像度

リフレッシュレート(Hz)

アナログ

VGA

640 × 350

70, 85

640 × 400

85

640 × 480

60, 66.66, 66.68, 72, 75, 85

720 × 400

70, 85

SVGA

800 × 600

56, 60, 72, 75, 85

832 × 624

74.55

XGA

1024 × 768

60, 70, 75, 85

1152 × 870

75, 75.06

1280 × 960

75

SXGA

1280 × 1024

60, 75

SXGA+

1400 × 1050

60

デジタル (vp6320シリーズ)

VGA

640 × 350

70, 85

640 × 400

85

ビデオモードの互換性 (続き)

互換性	解像度	リフレッシュレート(Hz)
	640 × 480	60, 72, 75, 85
	720 × 400	70, 85
SVGA	800 × 600	56, 60, 72, 75, 85
XGA	1024 × 768	60, 70, 75
SXGA	1280 × 1024	60, 75
SXGA+	1400 × 1050	60

安全情報

LEDの安全性

デジタルプロジェクタとリモコンの赤外線ポートは、国際標準IEC 825-1(EN608251)に基づいて、クラス-1 LED機器に分類されています。この機器は無害とされていますが、以下の注意事項を守ることが推奨します。

- 機器の修理が必要な場合は、HPの正規サービスセンターにご依頼ください。
- 機器の調整は行わないでください。
- LEDの光線を目に直接当てることは避けてください。光線は目に見えないので注意してください。
- 何らかの光学機器を通して赤外線LEDの光線を見ることは避けてください。

水銀の安全性



警告 このデジタルプロジェクタのランプには、少量の水銀が含まれています。万一、ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている可能性があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会 <http://www.eiae.org> にお問い合わせください。

規制情報

この項には、一部地域の規制にデジタルプロジェクタがどのように適合するかを記載します。HPの明示的な承認なしにデジタルプロジェクタを改変した場合、これらの地域でデジタルプロジェクタを使用する権利がなくなるおそれがあります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境でを使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

国際

規制に関する識別のため、製品には規制モデル番号が付与されています。お使いの製品の規制モデル番号は、「declaration of conformity」に記載されています。この規制番号は、販売上の名称や製品番号とは異なります。

規制モデル番号: CRVSB-05CE

Declaration of conformity

According to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's name: Hewlett Packard Company
Manufacturer's address: Hewlett Packard Company
Digital Projection & Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330-4239

Declares, that the product(s):

Product name: Digital Projector
Model numbers: vp6310/vp6320 series
Regulatory model: CRVSB-05CE

Conforms to the following product specifications:

Safety:

IEC 60950:1999/ EN 60950:2000

IEC 60825-1:1993 +A1 / EN 60825-1:1994 +A11 Class 1 LED

GB4943-1995

EMC:

EN 55022 +A1 Class B: 1998 [1]

CISPR 24:1997 / EN 55024 +A1:2001

IEC 61000-3-2:1995 / EN 61000-3-2:2000

IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995+A1:2001

GB9254-1998

FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B/ANSI C63.4:1992

AS/NZS 3548:1995 Rules and Regulations of Class B

VCCI

Supplementary information:

The product herewith complies with the requirements of following Directives and carries the CE marking accordingly:

— Low Voltage Directive: 73/23/EEC

— EMC Directive: 89/336/EEC

[1] The product was tested in a typical configuration with Hewlett Packard Personal Computer peripherals.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Corvallis, Oregon, January 15, 2005



Steve Brown, General Manager

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Boeblingen, Germany.

(FAX:+49-7031-143143).

USA Contact: Hewlett Packard Co., Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304.

Phone: (650) 857-1501.

索引

D

DVI ビデオ

ソースの接続 22

ポート 12

L

LEDの安全性 68

P

PC。コンピュータを参照

R

RS-232 52

S

SCART 22

S ビデオ

ソースの接続 24

ポート 12

U

USB、接続 20

V

VGA

ソースの接続 20, 21

ポート 12

Y

YpbPr。コンポーネント
ビデオを参照

あ

アクセサリ 15

アップデート、ファーム
ウェア 47

アナログビデオモードの
互換性 67

安全情報 7, 68

オーディオ

調整 33

トラブルシューティング
63

ポート 12

オンスクリーンメニュー
メニューを参照

か

形、調整 34

外部アクセサリ 51

外部アクセサリの制御 51

外部アクセサリのトリガ 51

画像

非表示と表示 31

焦点 28

ズーム 28

トラブルシューティング
60

品質 16, 22, 62

画像の非表示 31

画像の表示 31

画像の品質 16, 22, 62

画像モード、選択 33

画像。画像を参照

規制情報 69

クリーニング 7, 43

警告ライト

意味 59

設置場所 11

トラブルシューティング
59

傾斜した画像、調整 35

携帯端末、接続 21

ケーブル

接続 22

選択 49

ケーブルの選択 49

交換、ランプ 44

コンピュータ、接続 20

コンピュータ画面、表示 31

コンポーネントビデオ

ソースの接続 23

ポート 12

コンポジットビデオ

ソースの接続 25

ポート 12

さ

室内のレイアウト 16

焦点 28

仕様 65

シリアルポート 52

診断 64

水銀の安全性 68

スクリーン

位置調整 17

制御 51

ズーム 28

セキュリティ

ケーブルのロック 50

セキュリティコード 37

セットアップ 16

接続

DVI ソース 22

SCART ソース 22

S ビデオソース 24

外部アクセサリ 51

携帯端末 21

コンピュータ 20

コンポーネントビデオ

ソース 23

コンポジットビデオソース
25

電源 19

選択、ビデオソース 31

た

卓上設置 16, 49

調整

カラー 36

画像 33

画像の形 34
傾斜した画像 35
サウンド 33
セットアップ 37
天井設置 49
デジタルビデオモードの
互換性 67
電源
オフにする 27
オンにする 26
接続 19
電源のオン/オフ 26
トラブルシューティング
オーディオ 63
画像 60
警告ライト 59
始動 60
停止 63
リモコン 63

は

背面投影用の設置 50
ビデオソースの選択 31
ビデオモードの互換性 67
ファームウェアのアップ
デート 47
プレゼンテーション、表示
31
プレゼンテーションの表示
31
プロジェクタ、ロック 37
プロジェクタのアップ
グレード 47
プロジェクタの移動 27
プロジェクタの設置 16, 49
プロジェクタの投影位置の
調整 28
プロジェクタのロック 37, 50
プロジェクタのロック解除
37
ボタン
設置場所 11
メニューを開く 38

ま

メニュー
言語 41

使用方法 38
リスト 38

ら

ライト。ランプの警告ライト
を参照
ランプ、交換 44
リモコン
使用方法 29
電池の取付け 46
トラブルシューティング
63
ボタン 14
メニューを開く 38
リモコンの使用 29
ルームコントローラ 52
レンズ、クリーニング 43

水銀の安全性

警告: このデジタルプロジェクタのランプには、少量の水銀が含まれています。万一、ランプが破損した場合は、その部屋の換気を十分に行い、近くにあった飲食物をすべて捨てて、プロジェクタ周辺の家具やテーブルの上を十分に掃除してください。部屋を掃除したり、破損したランプを処理した後は手を洗ってください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または廃棄物処理業者にお問い合わせください。ランプの安全性に関する情報については、www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/productdata を参照してください。